

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 国語 科目 現代文演習

教科：国語 科目：現代文演習 単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 選択クラス

使用教科書：（第一学習社『論理国語』）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】文学作品や評論等の読解を通して先人のものの見方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

科目 現代文演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力、深い共感力や豊かな想像力を伸ばし、近現代の文章を通して日本または異文化のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、まとものある文章に接することで、自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域		評価規準	知	思	態	配 時 数
			話・聞	書・読					
1 学 期	小説、評論の読解 【知識及び技能】 ・小説、評論に用いられている語句の意味や用法を理解することを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・小説や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辭などの表現の特色について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類をふまえて、それぞれの文章に特有な表現に注意して内容を的確に捉える。 ・作品や文章を多面的多角な視点から捉え、我が国の言語文化について自分の考えを広げる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・物語文学に興味をもち、登場人物の言動などから多様な価値観を読み取ろうとする。 ・文学と現実とのつながりを理解しようとする。 定期考査	・問題集を用いた読解（『現代文 長文記述問題集2 読解力養成編』いっずな書店） ・一人1台端末の活用 等			【知識及び技能】 ・文章に用いられている語句の意味や用法を理解することを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辭などの表現の特色について理解を深めている。 ・小説を読むために必要な感情を表す言葉のきまりについて理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類をふまえて、その文章特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・作品やそこに描かれる人物を多面的・多角的な視点から捉え、我が国の言語文化について自分の考えを広げている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・物語文学に興味をもち、登場人物の言動などから多様な価値観を読み取ろうとしている。 ・文学と現実とのつながりを理解しようとしている。				12
	小説、評論の読解 【知識及び技能】 ・小説、評論に用いられている語句の意味や用法を理解することを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・小説や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辭などの表現の特色について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類をふまえて、それぞれの文章に特有な表現に注意して内容を的確に捉える。 ・作品や文章を多面的多角な視点から捉え、我が国の言語文化について自分の考えを広げる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・物語文学に興味をもち、登場人物の言動などから多様な価値観を読み取ろうとする。 ・文学と現実とのつながりを理解しようとする。 定期考査	・問題集を用いた読解（『現代文 長文記述問題集2 読解力養成編』いっずな書店） ・一人1台端末の活用 等			【知識及び技能】 ・文章に用いられている語句の意味や用法を理解することを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辭などの表現の特色について理解を深めている。 ・小説を読むために必要な感情を表す言葉のきまりについて理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類をふまえて、その文章特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・作品やそこに描かれる人物を多面的・多角的な視点から捉え、我が国の言語文化について自分の考えを広げている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・物語文学に興味をもち、登場人物の言動などから多様な価値観を読み取ろうとしている。 ・文学と現実とのつながりを理解しようとしている。				14
	小説、評論の読解 【知識及び技能】 ・小説、評論に用いられている語句の意味や用法を理解することを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・小説や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辭などの表現の特色について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類をふまえて、それぞれの文章に特有な表現に注意して内容を的確に捉える。 ・作品や文章を多面的多角な視点から捉え、我が国の言語文化について自分の考えを広げる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・物語文学に興味をもち、登場人物の言動などから多様な価値観を読み取ろうとする。 ・文学と現実とのつながりを理解しようとする。 定期考査	・問題集を用いた読解（『現代文 長文記述問題集2 読解力養成編』いっずな書店） ・一人1台端末の活用 等			【知識及び技能】 ・文章に用いられている語句の意味や用法を理解することを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辭などの表現の特色について理解を深めている。 ・小説を読むために必要な感情を表す言葉のきまりについて理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類をふまえて、その文章特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・作品やそこに描かれる人物を多面的・多角的な視点から捉え、我が国の言語文化について自分の考えを広げている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・物語文学に興味をもち、登場人物の言動などから多様な価値観を読み取ろうとしている。 ・文学と現実とのつながりを理解しようとしている。				1
2 学 期	小説、評論の読解 【知識及び技能】 ・小説、評論に用いられている語句の意味や用法を理解することを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・小説や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辭などの表現の特色について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類をふまえて、それぞれの文章に特有な表現に注意して内容を的確に捉える。 ・作品や文章を多面的多角な視点から捉え、我が国の言語文化について自分の考えを広げる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・物語文学に興味をもち、登場人物の言動などから多様な価値観を読み取ろうとする。 ・文学と現実とのつながりを理解しようとする。 定期考査	・問題集を用いた読解（『現代文 長文記述問題集2 読解力養成編』いっずな書店） ・一人1台端末の活用 等			【知識及び技能】 ・文章に用いられている語句の意味や用法を理解することを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辭などの表現の特色について理解を深めている。 ・小説を読むために必要な感情を表す言葉のきまりについて理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類をふまえて、その文章特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・作品やそこに描かれる人物を多面的・多角的な視点から捉え、我が国の言語文化について自分の考えを広げている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・物語文学に興味をもち、登場人物の言動などから多様な価値観を読み取ろうとしている。 ・文学と現実とのつながりを理解しようとしている。				14
	大学入試問題演習 【知識及び技能】 ・文章に用いられている語句の意味や用法を理解することを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辭などの表現の特色について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類をふまえて、文章特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・作品や文章を多面的多角な視点から捉え、我が国の言語文化について自分の考えを広げる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・登場人物の言動などから多様な価値観を読み取ろうとする。 ・文学と現実とのつながりを理解しようとする。	・大学入試問題演習 ・一人1台端末の活用 等			【知識及び技能】 ・文章に用いられている語句の意味や用法を理解することを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辭などの表現の特色について理解を深めている。 ・小説を読むために必要な感情を表す言葉のきまりについて理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類をふまえて、その文章特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・作品やそこに描かれる人物を多面的・多角的な視点から捉え、我が国の言語文化について自分の考えを広げている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・物語文学に興味をもち、登場人物の言動などから多様な価値観を読み取ろうとしている。 ・文学と現実とのつながりを理解しようとしている。				14

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 国語 科目 古典演習

教科：国語 科目：古典演習 単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 選択クラス

使用教科書：（三省堂『精選 古典探究 漢文編』）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】文学作品や評論等の読解を通して先人のものの見方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

科目 古典演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力、深い共感力や豊かな想像力を伸ばし、漢文を通して先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ、自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域		評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			話・聞	書・読					
1 学 期	史伝 【知識及び技能】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解することを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辭などの表現の特色について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類をふまえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉える。 ・古典の作品や文章を多面的多角な視点から捉え、我が国の言語文化について自分の考えを広げる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・史伝に興味をもち、登場人物の言動などから多様な価値観を読み取ろうとする。 ・古典文学と現代とのつながりを理解しようとする。 定期考査	・「鴻門之会」（『史記』） ・「四面楚歌」（『史記』） ・一人1台端末の活用 等		○	【知識及び技能】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解することを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辭などの表現の特色について理解を深めている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類をふまえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・古典の作品やそこに描かれる人物を多面的・多角的な視点から捉え、我が国の言語文化について自分の考えを広げている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・史伝に興味をもち、登場人物の言動などから多様な価値観を読み取ろうとしている。 ・古典文学と現代とのつながりを理解しようとしている。	○	○	○	12
	小説 【知識及び技能】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解することを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辭などの表現の特色について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類をふまえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉える。 ・古典の作品や文章を多面的多角な視点から捉え、我が国の言語文化について自分の考えを広げる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・小説に興味をもち、登場人物の言動などから多様な価値観を読み取ろうとする。 ・古典文学と現代とのつながりを理解しようとする。 定期考査	・「桃花源記」 ・「亮鬼」 ・一人1台端末の活用 等		○	【知識及び技能】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解することを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辭などの表現の特色について理解を深めている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類をふまえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・古典の作品やそこに描かれる人物を多面的・多角的な視点から捉え、我が国の言語文化について自分の考えを広げている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・小説に興味をもち、登場人物の言動などから多様な価値観を読み取ろうとしている。 ・古典文学と現代とのつながりを理解しようとしている。	○	○	○	14
	『三国志』の世界 【知識及び技能】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解することを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辭などの表現の特色について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類をふまえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉える。 ・古典の作品や文章を多面的多角な視点から捉え、我が国の言語文化について自分の考えを広げる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・『三国志』に興味をもち、登場人物の言動などから多様な価値観を読み取ろうとする。 ・古典文学と現代とのつながりを理解しようとする。 定期考査	・「桃園結義」（『三国志』） ・「進退於赤壁」（『三国志』） ・一人1台端末の活用 等		○	【知識及び技能】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解することを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辭などの表現の特色について理解を深めている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類をふまえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・古典の作品やそこに描かれる人物を多面的・多角的な視点から捉え、我が国の言語文化について自分の考えを広げている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・『三国志』に興味をもち、登場人物の言動などから多様な価値観を読み取ろうとしている。 ・古典文学と現代とのつながりを理解しようとしている。	○	○	○	14
2 学 期	大学入試問題演習 【知識及び技能】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解することを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辭などの表現の特色について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類をふまえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉える。 ・古典の作品や文章を多面的多角な視点から捉え、我が国の言語文化について自分の考えを広げる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・登場人物の言動などから多様な価値観を読み取ろうとする。 ・古典文学と現代とのつながりを理解しようとする。	・大学入試問題演習 ・一人1台端末の活用 等		○	【知識及び技能】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解することを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辭などの表現の特色について理解を深めている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類をふまえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・古典の作品やそこに描かれる人物を多面的・多角的な視点から捉え、我が国の言語文化について自分の考えを広げている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・登場人物の言動などから多様な価値観を読み取ろうとしている。 ・古典文学と現代とのつながりを理解しようとしている。	○	○	○	14
	定期考査			○		○	○	○	1

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 国語 科目 古文演習

教科：国語 科目：古文演習 単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 選択クラス

使用教科書：（三省堂『精選 古典探究 古文編』）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】文学作品や評論等の読解を通して先人のものの見方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

科目 古文演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力、深い共感力や豊かな想像力を伸ばし、古文を通して先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ、自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域		評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書・読					
1 学期	歴史物語作品の読解 【知識及び技能】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解することを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辭などの表現の特色について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類をふまえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉える。 ・古典の作品や文章を多面的多角な視点から捉え、我が国の言語文化について自分の考えを広げる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・物語文学に興味をもち、登場人物の言動などから多様な価値観を読み取ろうとする。 ・古典文学と現代とのつながりを理解しようとする。 定期考査	・「弓争ひ」（『大鏡』） ・演習 ・一人1台端末の活用 等			【知識及び技能】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解することを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辭などの表現の特色について理解を深めている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類をふまえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・古典の作品やそこに描かれる人物を多面的・多角的な視点から捉え、我が国の言語文化について自分の考えを広げている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・物語文学に興味をもち、登場人物の言動などから多様な価値観を読み取ろうとしている。 ・古典文学と現代とのつながりを理解しようとしている。				12
	『源氏物語』の読解 【知識及び技能】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解することを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辭などの表現の特色について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類をふまえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉える。 ・古典の作品や文章を多面的多角な視点から捉え、我が国の言語文化について自分の考えを広げる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・物語文学に興味をもち、登場人物の言動などから多様な価値観を読み取ろうとする。 ・古典文学と現代とのつながりを理解しようとする。 定期考査	・「物の怪の出現」（『源氏物語』） ・演習 ・一人1台端末の活用 等			【知識及び技能】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解することを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辭などの表現の特色について理解を深めている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類をふまえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・古典の作品やそこに描かれる人物を多面的・多角的な視点から捉え、我が国の言語文化について自分の考えを広げている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・物語文学に興味をもち、登場人物の言動などから多様な価値観を読み取ろうとしている。 ・古典文学と現代とのつながりを理解しようとしている。				14
	『肝試し』（『大鏡』） ・演習 ・一人1台端末の活用 等				【知識及び技能】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解することを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辭などの表現の特色について理解を深めている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類をふまえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・古典の作品やそこに描かれる人物を多面的・多角的な視点から捉え、我が国の言語文化について自分の考えを広げている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・物語文学に興味をもち、登場人物の言動などから多様な価値観を読み取ろうとしている。 ・古典文学と現代とのつながりを理解しようとしている。				14
2 学期	歴史物語作品の読解 【知識及び技能】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解することを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辭などの表現の特色について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類をふまえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉える。 ・古典の作品や文章を多面的多角な視点から捉え、我が国の言語文化について自分の考えを広げる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・物語文学に興味をもち、登場人物の言動などから多様な価値観を読み取ろうとする。 ・古典文学と現代とのつながりを理解しようとする。 定期考査	・「肝試し」（『大鏡』） ・演習 ・一人1台端末の活用 等			【知識及び技能】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解することを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辭などの表現の特色について理解を深めている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類をふまえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・古典の作品やそこに描かれる人物を多面的・多角的な視点から捉え、我が国の言語文化について自分の考えを広げている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・物語文学に興味をもち、登場人物の言動などから多様な価値観を読み取ろうとしている。 ・古典文学と現代とのつながりを理解しようとしている。				14
	大学入試問題演習 【知識及び技能】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解することを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辭などの表現の特色について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類をふまえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉える。 ・古典の作品や文章を多面的多角な視点から捉え、我が国の言語文化について自分の考えを広げる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・登場人物の言動などから多様な価値観を読み取ろうとする。 ・古典文学と現代とのつながりを理解しようとする。	・共通テスト問題演習 ・一人1台端末の活用 等			【知識及び技能】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解することを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辭などの表現の特色について理解を深めている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類をふまえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・古典の作品やそこに描かれる人物を多面的・多角的な視点から捉え、我が国の言語文化について自分の考えを広げている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・登場人物の言動などから多様な価値観を読み取ろうとしている。 ・古典文学と現代とのつながりを理解しようとしている。				14

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 国語 科目 古文講読

教科：国語 科目：古文講読

単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 選択クラス

使用教科書：（三省堂『精選 古典探究 古文編』）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】文学作品や評論等の読解を通して先人のものの見方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

科目 古文講読 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力、深い共感力や豊かな想像力を伸ばし、古文を通して先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ、自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域		評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書・読					
1 学期	歌物語の読解 【知識及び技能】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解することを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辭などの表現の特色について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類をふまえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉える。 ・古典の作品や文章を多面的多角な視点から捉え、我が国の言語文化について自分の考えを広げる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・物語文学に興味をもち、登場人物の言動などから多様な価値観を読み取ろうとする。 ・古典文学と現代とのつながりを理解しようとする。 定期考査	・「陽成院の二のみこ」（『大和物語』） ・一人1台端末の活用 等		○	【知識及び技能】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解することを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辭などの表現の特色について理解を深めている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類をふまえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・古典の作品やそこに描かれる人物を多面的・多角的な視点から捉え、我が国の言語文化について自分の考えを広げている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・物語文学に興味をもち、登場人物の言動などから多様な価値観を読み取ろうとしている。 ・古典文学と現代とのつながりを理解しようとしている。	○	○	○	12
	歴史物語作品の読解 【知識及び技能】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解することを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辭などの表現の特色について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類をふまえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉える。 ・古典の作品や文章を多面的多角な視点から捉え、我が国の言語文化について自分の考えを広げる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・物語文学に興味をもち、登場人物の言動などから多様な価値観を読み取ろうとする。 ・古典文学と現代とのつながりを理解しようとする。 定期考査	・「藤原忠平」（『大鏡』） ・一人1台端末の活用 等		○	【知識及び技能】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解することを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辭などの表現の特色について理解を深めている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類をふまえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・古典の作品やそこに描かれる人物を多面的・多角的な視点から捉え、我が国の言語文化について自分の考えを広げている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・物語文学に興味をもち、登場人物の言動などから多様な価値観を読み取ろうとしている。 ・古典文学と現代とのつながりを理解しようとしている。	○	○	○	14
	源氏物語の読解 【知識及び技能】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解することを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辭などの表現の特色について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類をふまえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉える。 ・古典の作品や文章を多面的多角な視点から捉え、我が国の言語文化について自分の考えを広げる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・物語文学に興味をもち、登場人物の言動などから多様な価値観を読み取ろうとする。 ・古典文学と現代とのつながりを理解しようとする。 定期考査	・「藤壺の出家」（『源氏物語』） ・一人1台端末の活用 等		○	【知識及び技能】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解することを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辭などの表現の特色について理解を深めている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類をふまえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・古典の作品やそこに描かれる人物を多面的・多角的な視点から捉え、我が国の言語文化について自分の考えを広げている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・物語文学に興味をもち、登場人物の言動などから多様な価値観を読み取ろうとしている。 ・古典文学と現代とのつながりを理解しようとしている。	○	○	○	14
2 学期	源氏物語の読解 【知識及び技能】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解することを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辭などの表現の特色について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類をふまえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉える。 ・古典の作品や文章を多面的多角な視点から捉え、我が国の言語文化について自分の考えを広げる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・物語文学に興味をもち、登場人物の言動などから多様な価値観を読み取ろうとする。 ・古典文学と現代とのつながりを理解しようとする。 定期考査	・「藤壺の出家」（『源氏物語』） ・一人1台端末の活用 等		○	【知識及び技能】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解することを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辭などの表現の特色について理解を深めている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類をふまえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・古典の作品やそこに描かれる人物を多面的・多角的な視点から捉え、我が国の言語文化について自分の考えを広げている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・物語文学に興味をもち、登場人物の言動などから多様な価値観を読み取ろうとしている。 ・古典文学と現代とのつながりを理解しようとしている。	○	○	○	14
	大学入試問題演習 【知識及び技能】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解することを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辭などの表現の特色について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類をふまえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉える。 ・古典の作品や文章を多面的多角な視点から捉え、我が国の言語文化について自分の考えを広げる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・登場人物の言動などから多様な価値観を読み取ろうとする。 ・古典文学と現代とのつながりを理解しようとする。	・大学入試問題演習 ・一人1台端末の活用 等		○	【知識及び技能】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解することを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辭などの表現の特色について理解を深めている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類をふまえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・古典の作品やそこに描かれる人物を多面的・多角的な視点から捉え、我が国の言語文化について自分の考えを広げている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・登場人物の言動などから多様な価値観を読み取ろうとしている。 ・古典文学と現代とのつながりを理解しようとしている。	○	○	○	14

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 国語 科目 論理国語

教科：国語 科目：論理国語 単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 1組～7組

使用教科書：（第一学習社『論理国語』）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】文学作品や評論等の読解を通して先人のものの見方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

科目 論理国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力、深い共感力や豊かな想像力を伸ばし、近現代の文章を通して日本または異文化のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、まとものある文章に接することで、自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域		評価規準	知	思	態	配 時 数
			話・聞	書・読					
1 学 期	小説、評論の読解 【知識及び技能】 ・小説、評論に用いられている語句の意味や用法を理解することを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・小説や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辭などの表現の特色について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類をふまえて、それぞれの文章に特有な表現に注意して内容を的確に捉える。 ・作品や文章を多面的多角な視点から捉え、我が国の言語文化について自分の考えを広げる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・物語文学に興味をもち、登場人物の言動などから多様な価値観を読み取ろうとする。 ・文学と現実とのつながりを理解しようとする。 定期考査	・「言語が見せる世界」野矢茂樹 ・問題演習 ・一人1台端末の活用 等		○	【知識及び技能】 ・文章に用いられている語句の意味や用法を理解することを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辭などの表現の特色について理解を深めている。 ・小説を読むために必要な感情を表す言葉のきまりについて理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類をふまえて、その文章特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・作品やそこに描かれる人物を多面的・多角的な視点から捉え、我が国の言語文化について自分の考えを広げている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・物語文学に興味をもち、登場人物の言動などから多様な価値観を読み取ろうとしている。 ・文学と現実とのつながりを理解しようとしている。	○	○	○	12
	小説、評論の読解 【知識及び技能】 ・小説、評論に用いられている語句の意味や用法を理解することを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・小説や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辭などの表現の特色について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類をふまえて、それぞれの文章に特有な表現に注意して内容を的確に捉える。 ・作品や文章を多面的多角な視点から捉え、我が国の言語文化について自分の考えを広げる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・物語文学に興味をもち、登場人物の言動などから多様な価値観を読み取ろうとする。 ・文学と現実とのつながりを理解しようとする。 定期考査	・「リスク社会とは何か」大澤真幸 ・問題演習 ・一人1台端末の活用 等		○	【知識及び技能】 ・文章に用いられている語句の意味や用法を理解することを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辭などの表現の特色について理解を深めている。 ・小説を読むために必要な感情を表す言葉のきまりについて理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類をふまえて、その文章特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・作品やそこに描かれる人物を多面的・多角的な視点から捉え、我が国の言語文化について自分の考えを広げている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・物語文学に興味をもち、登場人物の言動などから多様な価値観を読み取ろうとしている。 ・文学と現実とのつながりを理解しようとしている。	○	○	○	14
	小説、評論の読解 【知識及び技能】 ・小説、評論に用いられている語句の意味や用法を理解することを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・小説や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辭などの表現の特色について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類をふまえて、それぞれの文章に特有な表現に注意して内容を的確に捉える。 ・作品や文章を多面的多角な視点から捉え、我が国の言語文化について自分の考えを広げる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・物語文学に興味をもち、登場人物の言動などから多様な価値観を読み取ろうとする。 ・文学と現実とのつながりを理解しようとする。 定期考査	・「目に見える制度と見えない制度」中村雄二郎 ・問題演習 ・一人1台端末の活用 等		○	【知識及び技能】 ・文章に用いられている語句の意味や用法を理解することを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辭などの表現の特色について理解を深めている。 ・小説を読むために必要な感情を表す言葉のきまりについて理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類をふまえて、その文章特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・作品やそこに描かれる人物を多面的・多角的な視点から捉え、我が国の言語文化について自分の考えを広げている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・物語文学に興味をもち、登場人物の言動などから多様な価値観を読み取ろうとしている。 ・文学と現実とのつながりを理解しようとしている。	○	○	○	14
2 学 期	大学入試問題演習 【知識及び技能】 ・文章に用いられている語句の意味や用法を理解することを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辭などの表現の特色について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類をふまえて、文章特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・作品や文章を多面的多角な視点から捉え、我が国の言語文化について自分の考えを広げる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・登場人物の言動などから多様な価値観を読み取ろうとする。 ・文学と現実とのつながりを理解しようとする。	・大学入試問題演習 ・一人1台端末の活用 等		○	【知識及び技能】 ・文章に用いられている語句の意味や用法を理解することを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辭などの表現の特色について理解を深めている。 ・小説を読むために必要な感情を表す言葉のきまりについて理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類をふまえて、その文章特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・作品やそこに描かれる人物を多面的・多角的な視点から捉え、我が国の言語文化について自分の考えを広げている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・物語文学に興味をもち、登場人物の言動などから多様な価値観を読み取ろうとしている。 ・文学と現実とのつながりを理解しようとしている。	○	○	○	14
	小説、評論の読解 【知識及び技能】 ・小説、評論に用いられている語句の意味や用法を理解することを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・小説や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辭などの表現の特色について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類をふまえて、それぞれの文章に特有な表現に注意して内容を的確に捉える。 ・作品や文章を多面的多角な視点から捉え、我が国の言語文化について自分の考えを広げる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・物語文学に興味をもち、登場人物の言動などから多様な価値観を読み取ろうとする。 ・文学と現実とのつながりを理解しようとする。 定期考査	・「目に見える制度と見えない制度」中村雄二郎 ・問題演習 ・一人1台端末の活用 等		○	【知識及び技能】 ・文章に用いられている語句の意味や用法を理解することを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辭などの表現の特色について理解を深めている。 ・小説を読むために必要な感情を表す言葉のきまりについて理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類をふまえて、その文章特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・作品やそこに描かれる人物を多面的・多角的な視点から捉え、我が国の言語文化について自分の考えを広げている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・物語文学に興味をもち、登場人物の言動などから多様な価値観を読み取ろうとしている。 ・文学と現実とのつながりを理解しようとしている。	○	○	○	1

高等学校 令和6年度（3学年用）教科 地理歴史 科目 世界史演習

教科：地理歴史 科目：世界史演習 単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 選択クラス

使用教科書：（山川出版社『詳説世界史』）

教科 地理歴史 の目標：

- 【知識及び技能】地域的特色と日本及び世界の歴史について理解するとともに、調査や諸資料からまとめる技能を身に付ける。
- 【思考力、判断力、表現力等】地理や歴史に関わる事象の意味・意義・概念などを活用し多角的に考察し効果的に説明したり議論したりする力を養う
- 【学びに向かう力、人間性等】課題を主体的に解決しようとする態度を養い、我が国への愛情、他国文化の尊重に対する自覚を深める。

科目 世界史演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解している。 ・諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめることができる。	・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを時期や年代などの関連や現代世界とのつながりなどに着目して多角的に考察できる。	・世界の歴史の展開に関わる出来事について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>帝国主義とアジアの民族運動</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2次産業革命が社会に与えた影響や帝国主義時代の欧米列強の国内情勢および植民地拡大の経緯を理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日清戦争と日露戦争が中国および東アジアに与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な生活の変化から、単元についての関心を高める。 	<p>指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2次産業革命と帝国主義 ・列強の世界分割と列強体制の二分化 ・アジア諸国の変革と民族運動 <p>教材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書 プリント 副教材 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・帝国主義の支配を受けた地域における社会や文化の変化や、各列強が抱えていた国内事情とその課題を理解している。 ・アジア各地における改革や民族運動がどのように展開し、いかなる結果をもたらしたのかを理解している。 ・東南アジアや西アジアの民族運動の共通点を理解する。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インドにおける民族運動の社会的背景を多面的・多角的に考察し表現できる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新しく生まれた電気・化学製品が人々の日常生活に与えた影響について考えられる。 	○	○	○	12
定期考査			○	○		1
<p>1 学 期</p> <p>第一次世界大戦と世界の変容</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第一次世界大戦の概要やアジア・アフリカの各地に与えた影響を理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第一次世界大戦が東アジアの政治・経済・文化に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第一次世界大戦前後の世界について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 	<p>指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第一次世界大戦とロシア革命 ・ヴェルサイユ体制下の欧米諸国 ・アジア、アフリカ地域の民族運動 <p>教材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書 プリント 副教材 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バルカン半島で緊張が高まった背景、歴史上はじめての世界大戦が勃発した原因を理解する。 ・戦時外交および総力戦の特徴を理解する。 ・第一次世界大戦が東アジアの政治・経済・文化に与えた影響と第一次世界大戦による西アジアの政治地図の変化を理解する。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・塹壕戦やさまざまな新兵器、軍需工場で働く女性の図などの第一次世界大戦に関する画像資料および「平和に関する布告」などの資料をもとに、第一次世界大戦とロシア革命が世界にもたらした変容を多面的・多角的に考察し表現している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料集内や授業で提示される映像資料や写真資料に関心をもって触れることが出来る。 	○	○	○	14
定期考査			○	○		1
<p>第二次世界大戦と新たな国際秩序の形成</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界恐慌が国際関係に与えた影響や各国の対応策、およびヴェルサイユ体制の崩壊による経緯 	<p>指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界恐慌とヴェルサイユ体制の破壊 ・第二次世界大戦 ・新しい国際秩序の形成 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界恐慌からの国際関係や、第二次世界大戦の対立の構図と勃発から終戦までの経緯を理解している。 ・第二次世界大戦後に形成された国際秩序の特徴や、冷戦時代の国際関係の形成 				

	<p>サイユ体制の崩壊にいたる経緯やファンズム諸国・日本の動きについて理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本と中国が全面戦争へいたった背景、独ソ戦および太平洋戦争の開戦が第二次世界大戦にもたらした影響を多面的・多角的に考察し表現する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第二次世界大戦前後の国際秩序について、興味・関心や疑問をもつ。 	<p>教材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書 プリント 副教材 	<p>特徴を、それ以前との相違点をふまえて理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戦場を写した図像資料や「大西洋憲章」などの資料をもとに、第二次世界大戦の特徴を多面的・多角的に考察できる。 ・第一次世界大戦と比較し、第二次世界大戦の特徴を考察し、表現できる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業内で提示されたテーマについて自分なりに考え、発言することができる。 	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
2 学期	<p>冷戦と第三世界の台頭</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米ソそれぞれの同盟網の広がりや核開発競争の経緯、冷戦の進展がアメリカ社会に与えた影響を理解する。 ・国際情勢との関係をふまえたうえで、米ソ代理戦争としてのベトナム戦争の性格を理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スターリン死後のソ連と東欧における変化を多面的・多角的に考察し表現する。 ・キューバ革命の背景および影響を多面的・多角的に考察し表現する。 ・1960年代におけるアメリカ合衆国とソ連のそれぞれの変容を多面的・多角的に考察し表現する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冷戦の展開について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 	<p>指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冷戦の展開 ・第三世界の台頭とキューバ危機 ・冷戦体制の動揺 <p>教材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書 プリント 副教材 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冷戦の展開、冷戦のもとで第三世界の台頭がどのように進んだのかや、キューバ危機を経て国際社会が核兵器の制限にどのように取り組んだのかを理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先進国の平均経済成長率を示した統計資料や「スターリン批判」などの資料をもとに、冷戦下における東西両陣営の社会の変容を多面的・多角的に考察し表現している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習したことをもとに、冷戦期の世界について課題を設け探究することができる。 	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
3 学期	<p>冷戦の終結と今日の世界</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1960～1980年代の各国の経済や社会の状況を、経済構造の変化をふまえて理解する。 ・冷戦がどのような過程をたどって終結したのかや冷戦後の状況について理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在起こっている事象の歴史的背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解く。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代の世界で起こっている事象とこれまでの学習とのつながりに関心を持ち、主体的に探究する姿勢を養う。 	<p>指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業構造の変容 ・冷戦の終結 ・今日の世界 ・現代文明の諸相 <p>教材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書 プリント 副教材 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冷戦がどのように終結したのかや、冷戦終結後の各地の状況や地域・民族紛争、経済における世界の一体化について、国際情勢をふまえたうえで理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各地の状況を写した図像資料などをもとに、今日の世界が抱えている課題の特徴や傾向を表現できる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地球世界の課題について、よりよい社会の実現を視野に、主体的に探究しようとしている。 	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1

高等学校 令和6年度（3学年用）教科 地理歴史 科目 世界史探究演習

教科：地理歴史 科目：世界史探究演習 単位数：4 単位

対象学年組：第3学年 選択クラス

使用教科書：（山川出版社『詳説世界史』）

教科 地理歴史 の目標：

- 【知識及び技能】地域の特徴と日本及び世界の歴史について理解するとともに、調査や諸資料からまとめる技能を身に付ける。
- 【思考力、判断力、表現力等】地理や歴史に関わる事象の意味・意義・概念などを活用し多角的に考察し効果的に説明したり議論したりする力を養う
- 【学びに向かう力、人間性等】課題を主体的に解決しようとする態度を養い、我が国への愛情、他国文化の尊重に対する自覚を深める。

科目 世界史探究演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解している。 ・諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめることができる。	・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを時期や年代などの関連や現代世界とのつながりなどに着目して多角的に考察できる。	・世界の歴史の展開に関わる出来事について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	大交易・大交流の時代 アジアの諸帝国の繁栄 【知識及び技能】 ・モンゴル帝国解体後のアジア各地の状況について理解する。 ・ヨーロッパの人々の進出がアジアにもたらした影響や変化を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ヨーロッパの人々が遠洋に乗り出していった動機や背景を多面的・多角的に考察し表現する。 ・世界的な商業の発展が明の朝貢体制におよぼした影響を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 16世紀に一体化が始まった「世界」の性格を多面的・多角的に考察しようとしている。	指導事項 ・アジア交易世界の興隆 ・ヨーロッパの海洋進出とアメリカ大陸の変容 ・オスマン帝国とサファヴィー朝 ・ムガル帝国の興隆 ・清代の中国と隣接諸地域 教材 ・教科書 プリント 副教材	【知識・技能】 ・「世界の一体化」が始まった時期のアジアにおいて、どのような動きがあったのかを理解している。 ・ヨーロッパの海洋進出について、その動機や背景、経緯を理解している。 【思考・判断・表現】 ・ヨーロッパ人による航海と探検を示す地図やラス＝カサス『インディアスの破壊についての簡潔な報告』などの資料をもとに、ヨーロッパの海洋進出が諸地域にもたらした影響を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習した内容をもとに、課題を設け探究できる。	○	○	○	24
	定期考査			○	○		1
	近世ヨーロッパ世界の動向 【知識及び技能】 ・ルネサンスの担い手や彼らの動機、ルネサンスの影響について理解する。 ・主権国家体制や啓蒙思想について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・これまでの教会改革の試みと16世紀の宗教改革の違いを多面的・多角的に考察し表現する。 ・科学革命がヨーロッパ人に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・近世ヨーロッパ世界の動向について関心を高める。	指導事項 ・ルネサンス ・宗教改革 ・主権国家体制の成立 ・オランダ、イギリス、フランスの台頭 ・北欧、東欧の動向 ・科学革命と啓蒙思想 教材 ・教科書 プリント 副教材	【知識・技能】 ・ルター、カルヴァンの教えの特徴やイギリス国教会の成立の意義を理解している。 ・16世紀後半のスペイン・イギリス・フランスの関係を理解している。 ・主権国家体制とプロイセンとオーストリアの関係の推移を理解している。 【思考・判断・表現】 ・ルネサンスを支えた精神の特徴を理解し、それが後世に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ルネサンスのさまざまな作品を調べ、積極的に鑑賞しようとする。	○	○	○	28
定期考査			○	○		1	
	産業革命と環大西洋革命 【知識及び技能】 ・イギリスで産業革命がはじまった経緯や技術革新の展開を理解する。 ・北米大陸に建設されたヨーロッパ諸国の植民地の地理的分布とその推移を理解する。 ・革命中のフランス国家体制の変遷や革命が諸外国に与えた影響を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・イギリス産業革命が世界経済や社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	指導事項 ・産業革命 ・アメリカ合衆国の独立と発展 ・フランス革命とナポレオンの支配 ・中南米諸国の独立 教材 ・教科書 プリント 副教材	【知識・技能】 ・16世紀に始まった「世界の一体化」とイギリス産業革命との関係について理解している。 ・フランス革命の変遷と外国への影響を理解している。 【思考・判断・表現】 ・独立直後と今日のアメリカ合衆国を比較し、共通点と相違点を理解する。 ・人権宣言とアメリカ独立宣言を比較し、共通点と相違点を理解する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業内で提示されたテーマについて、考え、発言することができる。	○	○	○	29

2 学期	定期考査			○	○		1
	イギリスの優位と欧米国民国家の形成 【知識及び技能】 ・ウィーン会議の参加者たちがどのような国際秩序をめざしていたかを理解する。 ・1848年革命の展開と影響について理解する。 ・クリミア戦争における各国の立場と19世紀後半におけるロシア・イギリス・フランスの諸改革の相違点を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・19世紀イギリスの政治変革の特徴について、大陸諸国と比較したうえで理解する。 ・ドイツとイタリアの国民国家成立を比較し、共通点と相違点を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・19世紀の政治や文化について、関心を高める。	指導事項 ・ウィーン体制とヨーロッパの政治 ・列強体制の動揺とヨーロッパの再編成 ・アメリカ合衆国の発展 ・19世紀欧米文化の展開と市民文化の繁栄 教材 ・教科書 プリント 副教材	【知識・技能】 ・ウィーン会議がめざした国際秩序と、動揺した要因を理解している。 ・南北戦争につながったアメリカ合衆国内の対立構造やその後の展開を理解している。 【思考・判断・表現】 ・1848年革命の展開と影響について、ヨーロッパ内の地域差に着目して多面的・多角的に考察できる。 ・ドイツ帝国におけるビスマルクの諸政策の動機を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・19世紀の政治や文化について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	28
	定期考査			○	○		1
3 学期	アジア諸地域の動揺	指導事項 ・西アジア地域の変容 ・南アジア、東南アジアの植民地化 ・東アジアの激動 教材 ・教科書 プリント 副教材	【知識・技能】 ・オスマン帝国・イラン・アフガニスタンにおける動揺や改革の推移を、ヨーロッパ列強との関係ともあわせて理解している。 【思考・判断・表現】 ・東南アジアの植民地化の地図やゴムのプランテーションを示した図像資料をもとに、ヨーロッパ各国の進出の経緯をふまえ、南アジアと東南アジアにおける植民地化と世界経済の関係を多面的・多角的に考察し表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・地図や資料を用いながら、アジアの変化について調べ、まとめようとする。	○	○	○	24
	定期考査			○	○		1

高等学校 令和6年度（3学年用）教科 公民科 科目 政治経済

教科：公民科 科目：政治経済 単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 1組～7組

使用教科書：（清水書院 高等学校 現代政治・経済 新訂版）

教科 公民科 の目標：

- 【知識及び技能】・現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論を理解させる。
・資料から社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べとめる技能を身に付けさせる。

【思考力、判断力、表現力等】・現実社会の複雑な課題を把握し、説明するとともに、構想する力、議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】・現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養う。

科目 政治経済 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・現代日本における政治・経済の諸課題およびグローバル化する国際社会の諸課題について、基礎的基本的な知識を身につけ、理解を深めている。 ・諸資料から課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取る技能を身に付けている。	現代日本における政治・経済の諸課題およびグローバル化する国際社会の諸課題について多面的・多角的に考察、構想し、表現できている。	よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
A 単元 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】 ・法は社会規範の一つであり、国家による強制を伴う点で道徳や慣習とは異なることを理解する。 ・法は個人や集団の権利を擁護すると共に社会の秩序を維持する機能を有していることを理解する。 ・世界の政治体制と比較することで民主政治の本質を理解する。	・指導事項 1 政治とはなにか 2 法とはなにか テーマ 権利と義務を考える 3 現代民主政治へのあゆみと基本原理 4 議会制民主主義と世界の政治体制 ・教材 教科書・ワークノート・一人1台 端末	【知識・技能】 政治と法の意義と機能、権利と義務との関係、議会制民主主義について現実社会の諸事情を通して理解している。 私法に関する基本的な考え方について理解している。 【思考・判断・表現】 民主政治の本質を基に、憲法と現代政治の在り方及び主権者としての政治参加の在り方について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	5
B 単元 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】 ・日本国憲法は基本的人権の尊重、国民主権を基本原則とする点で国民国家の枠を超えた普遍性を持っていることを理解する。 ・日本国憲法は民主政治の諸原理と深い関係があることを理解する。	・指導事項 5 日本国憲法の成立と基本原理 6 基本的人権と新しい人権 ・教材 教科書・ワークノート・一人1台 端末	【知識・技能】 基本的人権の保障と法の支配について現実社会の諸事情を通して理解している。 【思考・判断・表現】 現代の政治、民主政治の本質、日本国憲法の制定過程および基本原理について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 現代の政治について関心をもち、抱える課題を解決しようとしている。	○	○	○	8
定期考査			○	○		1
1 学期 C 単元 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】 ・平和と安全の確保が、人類の福祉を実現する上で欠くことのできないものであることを理解する。 ・日本国憲法の平和主義を理解するとともに、日本の安全保障と防衛について理解を深める。	・指導事項 7 平和主義と安全保障 ・教材 教科書・ワークノート・一人1台 端末	【知識・技能】 日本国憲法の平和主義と我が国の安全保障に関する諸資料から課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取る技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 日本国憲法の平和主義と我が国の安全保障について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 平和で民主的な国家及び社会の有意な形成者としての自覚をもって日本国憲法における平和主義を理解しようとしている。	○	○	○	8
D 単元 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】 ・政治機構については、中学校社会科公民的分野の学習の成果を前提に理解を深める。 ・国民主権、議会制民主主義、権力分立、議院内閣制、違憲審査制の概念や政治理論の理解を深める。 ・日本の統治機構や政治制度の特徴を理解し課題を考える。	・指導事項 8 日本の政治機構 9 政党政治と選挙制度 10 地方自治 ・教材 教科書・ワークノート・一人1台 端末	【知識・技能】 現代日本の統治機構に関する諸資料から課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取る技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 現代日本の統治機構について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 現代日本の統治機構について関心をもち、抱える課題を解決しようという意欲をもって学習に臨もうとしている。 現代政治の特徴と課題のひとつとしての行政の民主化について関心をもち、抱える課題を解決しようという意欲をもって学習に臨もう	○	○	○	7
定期考査			○	○		1
・分業と交換に基づき、生産や消費について、どのような社会でも経済的選択の問題を解決しなければならぬことを理解する。 ・経済問題の解決の方法の違いによって市場経済や計画経済があることを理解する。 ・家計、企業、政府が現代の経済における主要な経済主体であり、これら経済主体間の相互関係が国	1 経済活動と経済主体 2 市場経済の機能と限界 テーマ 経済体制の変容と経済思想 3 国民経済と景気変動 4 物価とその変動 ・教材 教科書・ワークノート・一人1台 端末	経済活動と市場、経済主体と経済循環、国民経済の大きさや経済成長、物価と景気変動について現実社会の諸事情を通して理解している。 市場経済の機能と限界について、その基本となる理論や現実経済のしくみなどを踏まえたうえで、経済的な数値、資料をもとに、多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 効率と公平という考え方について関心をもち、抱える課題を解決しようという意欲を	○	○	○	8

2 学 期	<p>民経済を構成していることを理解する。</p>		<p>もって学習に臨もうとしている。</p>					
	<p>・金融とは経済主体間の資金の融通であることを理解する。 ・資金の需給は金融市場における金利の変化や株式市場と債券市場の動向によって調節されることを理解する。 ・金融市場における金利の動向が消費や貯蓄、投資行動に影響したり物価や株価、景気の変動に大きな役割を果たしていることを理解する。</p>	<p>5 金融のしくみとはたらき 6 財政のしくみとはたらき 7 日本経済のあゆみ 8 企業の活動と役割 9 労働問題と労働環境の変化 10 社会保障制度の充実 11 農業と食料問題</p> <p>・教材 教科書・ワークノート・一人1台</p>	<p>現代日本の経済に関する諸資料から課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取る技能を身に付けている。 持続可能な財政及び租税の在り方、金融を通じた経済活動の活性化について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 金融のはたらきとしくみについて関心を持ち、実際の社会の金融の役割を理解しようとしている。</p>	○	○	○	7	
3 学 期	<p>・ウェストファリア・システムを理解する。 ・国際法の基本的なしくみについて理解する。 ・国際法に関しては統一的な立法機関はなく、国際司法裁判所にも強制力が十分には機能しないことを理解する。</p>	<p>1 国際社会の成立と国際法 2 国際連合と国際協力 3 国際社会の変遷と動向 4 国際紛争と軍備管理</p> <p>・教材 教科書・ワークノート・一人1台 端末</p>	<p>国際政治の現状、国際社会の変遷、人権、国家主権、領土（領海、領空を含む。）などに関する国際法の意義、国際連合をはじめとする国際機構の役割、我が国の安全保障と防衛、国際貢献について、現実社会の諸事象を通して知識を獲得、理解している。 国際社会の特質や国際紛争の諸要因を基に、国際法の果たす役割について多面的・多角的に考察、表現している。 国際社会の変遷、人権、国家主権、領土（領海、領空を含む。）などに関する国際法の意義、国際連合をはじめとする国際機構の役割、我が国の安全保障と防衛、国際貢献について関心を持ち、抱える課題を解決しようとする。</p>	○	○	○	6	
	<p>・今日の国際社会の課題は、従来の政治や経済の枠組みをこえたものが多く、しかも複雑化していることを理解した上で、リスクある社会について探究する。 ・難民問題の現状を理解し、難民問題発生の原因を考え、原因を除去するために必要な政策を提言することを通して難民問題の解決策を探究する。 ・国際経済格差の是正について、先進国や国際機関による経済援助を中心とする考え方と発展途上国の自助努力を中心とする考え方を対照させて、発展途上国の経済的な自立と持続可能な発展と先進国の協力のあり方について探究する。</p>	<p>1 グローバル化する世界のリスクとはなにか？ 2 難民問題に解決策はあるか？ 3 国際経済格差の是正に国際社会はどう取り組むか？</p> <p>・教材 教科書・ワークノート・一人1台 端末</p>	<p>国際社会の取組、持続可能な国際社会づくりなどに関する諸資料から課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取る技能を身に付けている。 取り上げた課題の解決に向けて政治と経済とを関連させて多面的・多角的に考察、構想し、よりよい社会の在り方についての自分の考えを説明、論述している。 国際社会の課題として指摘されるグローバル化に伴うリスク、難民問題、国際経済格差、イノベーション、資源・エネルギー問題について関心を持ち、課題を解決しようという意欲をもって学習に臨もうとしている。</p>	○	○	○	4	
							合計	
								55

高等学校 令和6年度（3学年用）教科 地理歴史科 科目 地理総合

教科：地理歴史科 科目：地理総合 単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 1組～7組

使用教科書：（『高等学校 地理総合—世界を学び、地域をつくる』（第一学習社））

- 教科 地理歴史科 の目標：
- 【知識及び技能】
 - ・現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
 - 【思考力、判断力、表現力等】
 - ・地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
 - 【学びに向かう力、人間性等】
 - ・地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 地理総合	の目標：
<p>【知識及び技能】</p> <p>世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。</p>	<p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。</p>
	<p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、世界や世界の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>○球面上の世界と地図</p> <p>【知識及び技能】 地図の読み取り、使い方などの知識を身に付けることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 地球上の諸事象に対して、デジタル地図上に表現することができる</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 地球上の諸事象に対して関心を高めることができる。</p>	<p>・指導事項 地形図の使い方、デジタル地図の使い方、演習</p> <p>・教材 教科書、地形図、資料集、地図帳、一人1台端末の活用等</p> <p>teamsの活用、デジタル地図の閲覧、編集</p>	<p>・地図を持たない人々の生活を想像し、地図の有用性に気づくとともに、利用しやすい工夫が現在まで続けられていることを理解する。</p> <p>・新聞広告や図書館の資料、インターネット検索などを用いて、身の回りの地図の活用事例について調べることができる。</p> <p>・地球上の位置をあらわすために緯度・経度が定められたことと、地軸の傾きによる季節変化と時差の存在を理解し、時差の計算の積極的に関与することで、日本の標準時における諸外国の時間と生活のようすを想像することができる。</p> <p>・メルカトル図法、正積図法、正距方位図法の特徴と欠点を、知識として身につけるとともに、地球儀と世界地図を用いて、球面を平面に表現する際の特徴と問題点を、考えることができる。</p> <p>・地理学習の基本的な技能として、地図の縮尺や方位に注意しながら、地図上の情報を読み解く有用性を理解する。</p> <p>・インターネットを使ってさまざまなWeb地図にアクセスし、日常的に使われているGNSSやGISなど、新しい地図表現の役割を理解する。</p>	○	○	○	10
定期考査			○	○		1
<p>○自然環境と防災</p> <p>【知識及び技能】 日本の自然環境の特徴を知り、日本がどのような自然災害が起きるかを理解する。</p> <p>自然災害が起きるメカニズムを理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自然災害に対する人々の工夫や防災、減災の取組について関心を高めることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 防災・減災の取組である自助・共助・公助の考え方を理解し、どのような取組ができるかを考えることができる。</p>	<p>・指導事項 日本の自然環境と自然災害についての講義・演習、防災・減災の取組について</p> <p>・教材 教科書、資料集、地図帳、地形図、ハザードマップ</p> <p>・一人1台端末の活用等</p> <p>teamsの活用、地理院地図や重ねるハザードマップの活用、インターネットによる検索</p>	<p>・日本の自然環境の特徴を知り、日本がどのような自然災害が起きるかを理解する。</p> <p>・自然災害が起きるメカニズムを理解する。</p> <p>・自然災害に対する人々の工夫や防災、減災の取組について関心を高めることができる。</p> <p>・防災・減災の取組である自助・共助・公助の考え方を理解し、どのような取組ができるかを考えることができる。</p>	○	○	○	8
<p>○生活圏の調査と地域の展望</p> <p>【知識及び技能】 地域調査について、積極的な調査を実施できるように、地域調査の基本を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 地域調査の一環として、資料収集・現地調査を行い、的確な統計地図やグラフを作成して報告書にまとめることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 地域のさまざまな事象に対し、課題をもち、関心を高めることができる。</p>	<p>・指導事項 調査の仕方、報告書のまとめ方</p> <p>・教材 教科書、地形図、資料集、地図帳、ハザードマップ</p> <p>・一人1台端末の活用等</p> <p>teamsの活用、地理院地図や重ねるハザードマップの活用、インターネットによる検索</p>	<p>・地域調査について、積極的な調査を実施できるように、地域調査の必要性を理解し、地域調査の基本を身に付ける。</p> <p>・地域調査の一環として、資料の収集・活用を行い、報告書をまとめる。</p> <p>・地域調査を通して、地域のさまざまな事象に対し5W1Hの発問を設定して課題を抽出し、その解決策を提案し、共有する。</p> <p>・成人年齢が18歳になることを踏まえ、地域調査を通して、地域の課題に対する地方自治体の政策を調べ、主権者として地域の諸課題を解決する方法について考察を深めることができる。</p>	○	○	○	4
定期考査			○	○		1

向丘 高等学校 令和6年度(3学年用) 教科 地理歴史 科目 日本史演習

教科: 地理歴史 科目: 日本史演習 単位数: 2 単位

対象学年組: 第 3 学年 組 ~ 組

使用教科書: (『詳説日本史』山川出版社)

教科 地理歴史 の目標:

【知識及び技能】地域的特色と日本及び世界の歴史について理解するとともに、調査や諸資料からまとめる技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】地理や歴史に関わる事象の意味・意義・概念などを活用し多角的に考察し効果的に説明したり議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】課題を主体的に解決しようとする態度を養い、我が国への愛情、他国文化の尊重に対する自覚を深める。

科目 日本史演習 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日本の歴史の展開に関わる諸事情に関して地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的に理解するとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	日本の歴史の展開に関わる事象の意義などを多面的・多角的に考察し、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり考察・構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	日本の歴史の展開に関わる諸事象についてより良い社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養い、多面的・多角的な考察や深い理解を通して自国及び他国やその文化を尊重する自覚を深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元 近代国家の展開 【知識及び技能】 第一次世界大戦前からワシントン体制に至る政治の動向および対外政策の推移について、政党政治の発展や日本の中国進出の状況を踏まえて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 第一次世界大戦が日本の社会経済や政治に及ぼした影響について、欧米・アジア経済との関係や政党内閣の成立などに関連させて考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 民主主義的風潮による社会運動の動向、普選運動など政党政治の発展から二大政党による政党内閣制成立に至るまでの意義を主体的に追究する。	・指導事項 大正政変 第一次世界大戦 ワシントン体制 社会運動 普通選挙運動と護憲三派内閣 ・教材 教科書・副教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 第一次世界大戦が日本に及ぼした影響に着目し、大戦後の国際的な日本の立場や対外政策の変化についての基本事項を理解している。 【思考・判断・表現】 第一次世界大戦前後の日本の動向を踏まえ、中国や朝鮮をはじめとするアジア近隣諸国民が日本の対外姿勢をどのように受け止めたのかを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 対外戦争がもたらした国内的・国際的な変化を踏まえて学習を振り返るとともに、当時の日本外交に与えた影響やその課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	6
	B 単元 近代の産業と生活 【知識及び技能】 日清・日露戦争前後にかけて資本主義国家の基礎が確立された過程を、産業革命や近代産業の発展に着目して理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 近代産業の発展にともなう社会問題(労働問題・公害問題)の発生と政府の対応について考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 大衆社会の基盤の成立に着目し、都市化や市民生活の変化を踏まえて、大衆文化の特色について主体的に追究する。	・指導事項 近代産業の発展 近代文化の発達 市民生活の変容と大衆文化 ・教材 教科書・副教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 産業の発達の背景と影響などに着目し、産業革命の展開について適切に情報を読み取り、地域社会における労働や生活の変化が社会問題を生み出したことを理解している。 【思考・判断・表現】 地域社会の変化などを踏まえて産業全般の変化がもたらされたことや、労働問題や公害問題の発生について多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 マスメディアや出版の発達によって誕生した大衆社会が生み出す課題について、自ら主体的に追究しようとしている。	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1
	C 単元 恐慌と第二次世界大戦 【知識及び技能】 恐慌による国内経済の動揺と軍部の政治的進出、太平洋戦争に至る過程について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 軍部の政治的進出に着目し、政党内閣の崩壊、国際的孤立に至る過程を考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 第二次世界大戦について、国家間の相違や総力戦の特色を踏まえ、この戦争の悲惨さに着目して、平和で民主的な国際社会の実現に努める重要性を認識する。	・指導事項 恐慌の時代 軍部の台頭 第二次世界大戦 ・教材 教科書・副教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 国際社会やアジア近隣諸国との関係に着目し、戦争の長期化と欧米諸国との外交関係、戦時体制の強化、第二次世界大戦の展開について理解している。 【思考・判断・表現】 対外政策、国内での軍部の政治的進出などの諸事象を相互に関連づけて多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 太平洋戦争に至る過程や日本政府の対応を考察することを通じて、第二次世界大戦期の国際関係について主体的に課題を追究しようとしている。	○	○	○	15
定期考査			○	○		1	
D 単元 占領下の日本 【知識及び技能】 占領政策および戦後の民主化政策とそれにともなう諸改革について、その経過と内容を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 東アジア情勢の変化を踏まえ、連合	・指導事項 占領と改革 冷戦の開始と講和 ・教材 教科書・副教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 占領政策と諸改革、サンフランシスコ平和条約の調印による日本の主権回復の意義について理解している。 【思考・判断・表現】 戦後の諸改革が連合国の対日占領政策にもとづくとともに、戦争に対する日本国民の反省	○	○	○		

2 学 期	<p>国による占領が終結し、日本が独立した意義を考える。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 連合国による日本占領の終結と、その後の日米関係の継続について、様々な国の立場から主体的に追究する。</p>		<p>に又えられ、つ夫肥されにこについて、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 現代の日本との関係性を踏まえ、占領期における諸改革や連合国による日本占領機構の特色から戦後改革がどのような社会の枠組みを形成したのか、主体的に課題を追究しようとしている。</p>	○	○	○	10
	<p>E 単元 高度成長の時代</p> <p>【知識及び技能】 独立後の日本の政治・経済について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 経済復興とその後の高度経済成長について、経済の国際化と国内の技術革新などの側面に着目して考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 日本の国際社会復帰、経済成長による社会問題について主体的に追究する。</p>	<p>・指導事項 55年体制 経済復興から高度経済成長へ</p> <p>・教材 教科書・副教材 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 冷戦やグローバル化の進展の影響などに着目して、戦後の日本経済の成長や高度成長期の国民生活や地域社会の変化について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 日本の経済復興や高度成長を国際関係から関連づけたり、様々な社会問題の発生について多面的・多角的に考察したりして、その結果を表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 高度経済成長がもたらした国内的・国際的な日本の変化を踏まえて学習を振り返るとともに、次の学習へのつながりを見出そうとしている。</p>	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	<p>F 単元 激動する世界と日本</p> <p>【知識及び技能】 ドル＝ショックや石油危機を踏まえて、主要先進国首脳会議が開かれた意義を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 高度成長が終焉し、経済大国としての道を歩み始めた日本の状況を多面的・多角的に考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 冷戦体制の終結とそれに関わる国内の状況について、日本の政治・外交・経済・生活文化面を踏まえて主体的に追究する。</p>	<p>・指導事項 経済大国への道 冷戦の終結と日本社会の変容</p> <p>・教材 教科書・副教材 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 冷戦終結後の国際関係、55年体制が崩壊した政治状況、バブル経済から平成不況へと進んだ経済状況などについて理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 日本が石油危機を乗り越えて経済大国となった要因について多面的・多角的に考察し、その結果を表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 第二次世界大戦後、冷戦終結後の日本の国際社会における様々な取り組みについて、課題を主体的に追究しようとしている。</p>	○	○	○	10
定期考査			○	○		1	
3 学 期	<p>G 単元 近代・近現代の振り返り</p> <p>【知識及び技能】 近代から近現代の日本の政治・社会・経済・文化を国際社会との関係から理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 近代から近現代の日本の政治・社会・経済・文化を国際社会との関係から多面的・多角的に考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 近代から近現代の日本の政治・社会・経済・文化を国際社会との関係から自ら課題を設定し、主体的に追究する。</p>	<p>・指導事項 近代・近現代の振り返り</p> <p>・教材 教科書・副教材 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 近代から近現代の日本の政治・社会・経済・文化を国際社会との関係から基本事項を理解している</p> <p>【思考・判断・表現】 近代から近現代の日本の政治・社会・経済・文化を国際社会との関係から多面的・多角的に考察し、表現できている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 近代から近現代の日本の政治・社会・経済・文化を国際社会との関係から自ら課題を設定し、主体的に追究しようとしている。</p>	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
							合計
							70

向丘 高等学校 令和6年度(3学年用) 教科 地理歴史 科目 日本史探究演習

教科: 地理歴史 科目: 日本史探究演習

単位数: 4 単位

対象学年組: 第 3 学年 組 ~ 組

使用教科書: (『詳説日本史』山川出版社)

教科 地理歴史 の目標:

【知識及び技能】地域的特色と日本及び世界の歴史について理解するとともに、調査や諸資料からまとめる技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】地理や歴史に関わる事象の意味・意義・概念などを活用し多角的に考察し効果的に説明したり議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】課題を主体的に解決しようとする態度を養い、我が国への愛情、他国文化の尊重に対する自覚を深める。

科目 日本史探究演習 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日本の歴史の展開に関わる諸事情に関して地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的に理解するとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	日本の歴史の展開に関わる事象の意義などを多面的・多角的に考察し、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり考察・構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	日本の歴史の展開に関わる諸事象についてより良い社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養い、多面的・多角的な考察や深い理解を通して自国及び他国やその文化を尊重する自覚を深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
A 単元 近世の幕開け 【知識及び技能】 アジアやヨーロッパとの交流、織豊政権の特色や貿易・対外関係について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 織豊政権の諸政策や、ヨーロッパ諸国の進出がアジアに与えた影響などについて多面的・多角的に考察し、表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 時代の転換に着目して、中世から近世の社会の変容を多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現できる。	・指導事項 大航海時代 織豊政権 桃山文化 ・教材 教科書・副教材・プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 織豊政権の特色や貿易・対外関係についての基本事項を理解している。 【思考・判断・表現】 織豊政権の諸政策や対外関係について多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 中世から近世の社会の変容を多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現している。	○	○	○	8
B 単元 幕藩体制の成立と展開 【知識及び技能】 江戸幕府の幕藩体制の成立期から安定期にかけての政治や社会について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 幕藩体制安定期までの統治政策や当時の社会、経済について、多面的・多角的に考察し、表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 幕藩体制安定期までの様々な画期について考察し、主体的に追究できる。	・指導事項 幕藩体制の成立、構造、安定 経済の発展 寛永期の文化 元禄文化 ・教材 教科書・副教材・プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 江戸幕府の幕藩体制の成立期から安定期にかけての基本事項を理解している。 【思考・判断・表現】 幕藩体制成立期から安定期までの統治政策や当時の社会、経済について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 幕藩体制成立期から安定期までの様々な画期について考察し、主体的に追究している。	○	○	○	17
定期考査			○	○		1
1 学期 C 単元 幕藩体制の動揺 【知識及び技能】 幕府や諸藩が行った諸改革と、列強の接近、雄藩の出現する過程を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 幕藩体制が動揺する過程、国際情勢の変化と影響などに着目して、幕府政治の動揺と諸藩の動向について多面的・多角的に考察し、表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 幕藩体制下の社会・経済の仕組みの変化や、外交政策の転換など幕府・諸藩の政策の変化について課題を見出し、主体的に追究できる。	・指導事項 幕政の改革 宝暦・天明期の文化 幕府の衰退と近代化への道 化政文化 ・教材 教科書・副教材・プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 幕府や諸藩が行った諸改革と、列強の接近、雄藩の出現する過程についての基本事項を理解している。 【思考・判断・表現】 幕藩体制が動揺する過程、国際情勢の変化と影響などに着目して、幕府政治の動揺と諸藩の動向について多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 幕藩体制下の社会・経済の仕組みの変化や、外交政策の転換など幕府・諸藩の政策の変化について課題を見出し、主体的に追究している。	○	○	○	14
D 単元 近世から近代へ 【知識及び技能】 江戸幕府の威信低下から幕府の滅亡、旧幕府勢力の一掃までの過程を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 国際社会の変化に着目し、日本の開国を社会・経済面での変化と関わらせて多面的・多角的に考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 近世から近代への変化について考察し、時代を通観する問いを見出し、主体的に追究できる。	・指導事項 開国と幕末の動乱 幕府の滅亡と新政府の発足 ・教材 教科書・副教材・プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 江戸幕府の威信低下から幕府の滅亡、旧幕府勢力の一掃までの過程の基本事項を理解している。 【思考・判断・表現】 国際社会の変化に着目し、日本の開国を社会・経済面での変化と関わらせて多面的・多角的に考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 近世から近代への変化について考察し、時代を通観する問いを見出し、主体的に追究している。	○	○	○	14
定期考査			○	○		1
E 単元 近代国家の成立 【知識及び技能】 明治新政府の政治制度や自由民権運動の始まりから立憲国家の成立に至る過程を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 明治新政府の政治的政基と国家の統	・指導事項 明治維新と富国強兵 立憲国家の成立 ・教材 教科書・副教材・プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 明治新政府の政治制度や自由民権運動の始まりから立憲国家の成立に至る過程の基本事項を理解している。 【思考・判断・表現】 明治新政府の政治的政基と国家の統				

2 学 期	<p>【思考力、判断力、表現力等】 明治新政府の政治的改革と国家的統一の過程を多面的・多角的に考察できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 立憲国家の成立に至る過程を考察したうえで日本における立憲政治の導入がもたらした課題を主体的に追究できる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 一人1台端末の活用 等 	<p>明治新政府の政治的改革と国家的統一の過程を多面的・多角的に考察している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 立憲国家の成立に至る過程を考察したうえで日本における立憲政治の導入がもたらした課題を主体的に追究している。</p>	○	○	○	15
	<p>F 単元 近代国家の展開</p> <p>【知識及び技能】 日清・日露戦争、第一次世界大戦前後の過程を国際社会と日本の関係を踏まえて理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 開戦に至る国際関係や、戦後の日本の国際的地位の変化と植民地支配の推進について、諸外国の動向と関連づけて考察できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 対外戦争がもたらした国内的・国際的な変化を踏まえて学習を振り返るとともに、次の学習へのつながりを見出す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 指導事項 日清・日露戦争と国際関係 第一次世界大戦と日本 教材 教科書・副教材・プリント 一人1台端末の活用 等 	<p>【知識・技能】 日清・日露戦争、第一次世界大戦前後の過程を国際社会と日本の関係を踏まえ、基本事項を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 開戦に至る国際関係や、戦後の日本の国際的地位の変化と植民地支配の推進について、諸外国の動向と関連づけて考察している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 対外戦争がもたらした国内的・国際的な変化を踏まえて学習を振り返るとともに、次の学習へのつながりを見出している。</p>	○	○	○	15
	<p>定期考査</p>			○	○		1
	<p>G 単元 近代の産業と生活</p> <p>【知識及び技能】 日本の産業革命から大衆社会の基盤の成立の過程について政治・経済・文化などの点から理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 近代産業・文化の発展について政治・経済・外交などの視点から多面的・多角的に考察できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 近代産業の発展とそれによる社会問題の対応について課題を見出し主体的に追究できる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 指導事項 近代産業の発展 近代文化の発達 市民生活の変容と大衆文化 教材 教科書・副教材・プリント 一人1台端末の活用 等 	<p>【知識・技能】 日本の産業革命から大衆社会の基盤の成立の過程について政治・経済・文化などの基本事項を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 近代産業・文化の発展について政治・経済・外交などの視点から多面的・多角的に考察している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 近代産業の発展とそれによる社会問題の対応について課題を見出し主体的に追究している。</p>	○	○	○	14
	<p>H 単元 恐慌と第二次世界大戦</p> <p>【知識及び技能】 恐慌による国内経済の動揺、軍部の政治的進出から第二次世界大戦後までの過程について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 恐慌から脱し、軍部の影響力が増し、</p>	<ul style="list-style-type: none"> 指導事項 恐慌の時代 軍部の台頭 第二次世界大戦 教材 教科書・副教材・プリント 	<p>【知識・技能】 恐慌による国内経済の動揺、軍部の政治的進出から第二次世界大戦後までの過程についての基本事項を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 恐慌から脱し、軍部の影響力が増していき</p>				

	心算でつらみ、手記でつらみをしていくなかで太平洋戦争へと突入していくこと過程を考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 国家間の相違や総力戦の特色を踏まえ、戦争が空前の惨禍をもたらした点に着目し、平和で民主的な国際社会の実現に努める重要性を認識する。	・一人1台端末の活用 等	かで太平洋戦争へと突入していくこと過程を考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 国家間の相違や総力戦の特色を踏まえ、戦争が空前の惨禍をもたらした点に着目し、平和で民主的な国際社会の実現にむけての課題を見出し主体的に追究している。	○	○	○	14	
	定期考査			○	○		1	
3 学 期	I 単元 原始から近世の振り返り 【知識及び技能】 原始から近世の日本の政治・社会・経済・文化などを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 原始から近世の日本の政治・社会・経済・文化などを多面的・多角的に考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 原始から近世の日本の政治・社会・経済・文化などに自ら課題を設定し、主体的に追究する。	・指導事項 原始・古代の振り返り 中世の振り返り 近世の振り返り ・教材 教科書・副教材・プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 原始から近世の日本の政治・社会・経済・文化などの基本事項を理解している 【思考・判断・表現】 原始から近世の日本の政治・社会・経済・文化などを多面的・多角的に考察し、表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 原始から近世の日本の政治・社会・経済・文化などについて多面的・多角的な視点から自ら課題を設定し、主体的に追究しようとしている。	○	○	○	24	
	定期考査			○	○		1	
							合計	
								140

高等学校 令和6年度(3学年用) 教科 数学 科目 受験数学ⅡB

教科: 数学 科目: 受験数学ⅡB 単位数: 2 単位

対象学年組: 第3学年 1組～7組

使用教科書: (高等学校数学Ⅱ(数研出版), 高等学校数学B(数研出版))

教科 数学 の目標:

【知識及び技能】数学における基本的な概念や原理などを体系的に理解し、数学的に表現・処理する技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】数学を活用して論理的に考察する、思考の過程を統合的・発展的に考察して表現する力を身に付ける。

【学びに向かう力、人間性等】数学のよさを認識し、数学的論議による判断、問題解決の過程を振り返って粘り強く自己評価できるようにする。

科目 受験数学ⅡB の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
三角関数や微分法と積分法、数列等についての基本的な概念や原理、法則を体系的に理解するとともに、数学的な表現の工夫について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明確・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論議に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態			配当 時数
			知	思	態	
A 式と証明 【知識及び技能】 三次の乗法公式及び因数分解の公式を理解し、それらを用いて式の展開や因数分解をすること。 【思考力、判断力、表現力等】 式の計算の方法を既に学習した数や式の計算と関連付け多面的に考察すること。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し、数学的論議による判断、問題解決の過程を振り返って粘り強く自己評価できるようにする。	・二項定理	【知識・技能】 定期考査 【思考・判断・表現】 定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 課題提出	○	○	○	6
B 複素数と方程式 【知識及び技能】 数を複素数まで拡張する意義を理解し、複素数の四則計算をすること。 【思考力、判断力、表現力等】 日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、方程式や不等式を用いて問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的特徴や他の事象との関係を検討したりすること。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し、数学的論議による判断、問題解決の過程を振り返って粘り強く自己評価できるようにする。	・複素数と2次方程式の解	【知識・技能】 定期考査 【思考・判断・表現】 定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 課題提出	○	○	○	6
定期考査			○	○		1
1 学期 A 図形と方程式 【知識及び技能】 座標平面上の直線や円を方程式で表すこと。 【思考力、判断力、表現力等】 数量と図形との関係などに着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、コンピュータなどの情報機器を用いて軌跡や不等式の表す領域を座標平面上に表すなどして、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的特徴や他の事象との関係を検討したりすること。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し、数学的論議による判断、問題解決の過程を振り返って粘り強く自己評価できるようにする。	・点と直線、円、軌跡と領域	【知識・技能】 定期考査 【思考・判断・表現】 定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 課題提出	○	○	○	6
C 三角関数 【知識及び技能】 三角関数の加法定理や二倍角の公式、三角関数の合成について理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 二つの数値の間に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的特徴や他の事象との関係を検討したりすること。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し、数学的論議による判断、問題解決の過程を振り返って粘り強く自己評価できるようにする。	・三角関数	【知識・技能】 定期考査 【思考・判断・表現】 定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 課題提出	○	○	○	6
定期考査			○	○		1
B 指数関数と対数関数 【知識及び技能】 指数を正の整数から有理数まで拡張する意義を理解し、指数法則を用いて数や式の計算をすること。 【思考力、判断力、表現力等】 指数関数及び対数関数の式とグラフの関係について、多面的に考察すること。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し、数学的論議による判断、問題解決の過程を振り返って粘り強く自己評価できるようにする。	・指数関数、対数関数	【知識・技能】 定期考査 【思考・判断・表現】 定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 課題提出	○	○	○	6
A 微分法と積分法 【知識及び技能】 微分係数や導関数の意味について理解し、関数の定数倍、和及び差の導関数を求めること。 【思考力、判断力、表現力等】 関数とその導関数との関係について考察すること。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し、数学的論議による判断、問題解決の過程を振り返って粘り強く自己評価できるようにする。	・微分法	【知識・技能】 定期考査 【思考・判断・表現】 定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 課題提出	○	○	○	6
B 微分法と積分法 【知識及び技能】 不定積分と定積分の意味について理解し、関数の定数倍、和及び差の不定積分と定積分の値を求めること。 【思考力、判断力、表現力等】 関数の局所的な変化に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的特徴や他の事象との関係を検討したりすること。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し、数学的論議による判断、問題解決の過程を振り返って粘り強く自己評価できるようにする。	・積分法	【知識・技能】 定期考査 【思考・判断・表現】 定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 課題提出	○	○	○	6
定期考査			○	○		1
A 数列 【知識及び技能】 等差数列と等比数列について理解し、それらの一般項や和を求めること。 【思考力、判断力、表現力等】 事象から離散的な変化を見いだし、それらの変化の規則性を数学的に表現し考察すること。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し、数学的論議による判断、問題解決の過程を振り返って粘り強く自己評価できるようにする。	・数列	【知識・技能】 定期考査 【思考・判断・表現】 定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 課題提出	○	○	○	6
B 数列 【知識及び技能】 漸化式について理解し、事象の変化を漸化式で表したり、簡単な漸化式で表された数列の一般項を求めたりすること。 【思考力、判断力、表現力等】 事象の再帰的な関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、数列の考えを問題解決に活用すること。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し、数学的論議による判断、問題解決の過程を振り返って粘り強く自己評価できるようにする。	・漸化式	【知識・技能】 定期考査 【思考・判断・表現】 定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 課題提出	○	○	○	6
定期考査			○	○		1
3 学期 総合演習 【知識及び技能】 標準～応用レベルの入試問題に求められる知識が身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 標準～応用レベルの入試問題を解答するために求められる思考力、判断力、表現力を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】 問題演習を通して、理解を深化させようとする姿勢をもつ。	分野ごとの練習問題 融合問題 共通テスト形式の問題 論述形式の問題	【知識・技能】 課題提出 【思考・判断・表現】 課題提出 【主体的に学習に取り組む態度】 課題提出	○	○	○	12
						合計
						70

高等学校 令和6年度(3学年用) 教科 数学 科目 受験数学ⅠA

教科: 数学 科目: 受験数学ⅠA 単位数: 2 単位
 対象学年組: 第 3 学年 1 組～ 7 組 選択
 使用教科書: (改訂版高等数学Ⅰ, 改訂版高等数学ⅡA, 新課程 シニア 数学演習Ⅰ・Ⅱ・A・B・C〔ベクトル〕受験編)
 教科 数学 の目標:

- 【知識及び技能】数学における基本的な概念や原理などを体系的に理解し、数学的に表現・処理する技能を身に付ける。
- 【思考力、判断力、表現力等】数学を活用して論理的に考察する、思考の過程を統合的・発展的に考察して表現する力を身に付ける。
- 【学びに向かう力、人間性等】数学のよさを認識し、数学的論拠による判断、問題解決の過程を振り返って粘り強く自己評価できるようにする。

科目 受験数学ⅠA の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理、判別体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表す、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

1 学期	4 月	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		数と式 【知識及び技能】二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深めること。 【思考力、判断力、表現力等】問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすること。 【主体的に学習に取り組む態度】数学のよさを認識し、数学的論拠による判断、問題解決の過程を振り返って粘り強く自己評価できるようにする。	・指導事項 因数分解 実数 1次不等式 ・教材 教科書、問題集、参考書	【知識・技能】 定期考査 【思考・判断・表現】 定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 課題提出	○	○	○	5
5 月	場合の数・確率 【知識及び技能】確率の意味や基本的な法則について理解を深め、事象の確率や期待値を求めること。 【思考力、判断力、表現力等】確率の性質や法則に着目し、確率を求める方法を多面的に考察すること。 【主体的に学習に取り組む態度】確率の求め方の違いを考察して興味・関心を持ち、適切に求められるようにする。	・指導事項 独立な試行の確率 条件付き確率、期待値 ・教材 教科書、問題集、参考書等	【知識・技能】 定期考査、課題提出 等 【思考・判断・表現】 定期考査、課題提出 等 【主体的に学習に取り組む態度】 課題提出、授業の取り組み 等	○	○	○	8	
	定期考査			○	○		1	
6 月	命題と証明 【知識及び技能】集合と命題に関する基本的な概念を理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】集合の考えを用いて論理的に考察し、簡単な命題を証明すること。 【主体的に学習に取り組む態度】数学のよさを認識し、数学的論拠による判断、問題解決の過程を振り返って粘り強く自己評価できるようにする。	・指導事項 命題と証明 命題と条件 ・教材 教科書、問題集、参考書等	【知識・技能】 定期考査 【思考・判断・表現】 定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 課題提出	○	○	○	8	
	平面図形・空間図形 【知識及び技能】三角形、円などの基本図形に関する性質について理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】図形の新たな性質を見出し、その性質を論理的に考察して説明できること。 【主体的に学習に取り組む態度】複雑な図形において、性質の利用方法に関して興味・関心を持ち、適切に求められるようにする。	・指導事項 三角形の辺の比 三角形の外心・内心・重心 ・教材 教科書、問題集、参考書等	【知識・技能】 定期考査、課題提出 等 【思考・判断・表現】 定期考査、課題提出 等 【主体的に学習に取り組む態度】 課題提出、授業の取り組み 等	○	○	○	7	
7 月	定期考査			○	○		1	
9 月	二次関数 【知識及び技能】二次関数の値の変化やグラフの特徴について理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】二次関数の式とグラフの関係について、コンピュータなどの情報機器を用いてグラフをかくなどして多面的に考察すること。 【主体的に学習に取り組む態度】数学のよさを認識し、数学的論拠による判断、問題解決の過程を振り返って粘り強く自己評価できるようにする。	・指導事項 関数とグラフ 2次関数のグラフ ・教材 教科書、問題集、参考書等 グラフ描画アプリの活用等	【知識・技能】 定期考査 【思考・判断・表現】 定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 課題提出	○	○	○	8	
	数学と人間の活動 【知識及び技能】数学に関する概念と人間の活動との関わりについて理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】数量や図形に関する概念などを、関心に基づいて発展させ考察すること。 【主体的に学習に取り組む態度】数学的な要素を見出し、目的に応じて数学を活用して興味・関心を持ち、適切に求められるようにする。	・指導事項 約数と倍数 素数と素因数分解 最大公約数・最小公倍数 ・教材 教科書、問題集、参考書等	【知識・技能】 定期考査、課題提出 等 【思考・判断・表現】 定期考査、課題提出 等 【主体的に学習に取り組む態度】 課題提出、授業の取り組み 等	○	○	○	7	
10 月	定期考査			○	○		1	
1 1 月	図形と計量 【知識及び技能】正弦定理や余弦定理について三角形の決定条件や二平方の定理と関連付けて理解し、三角形の辺の長さや角の大きさなどを求めること。 【思考力、判断力、表現力等】図形の構成要素間の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすること。 【主体的に学習に取り組む態度】数学のよさを認識し、数学的論拠による判断、問題解決の過程を振り返って粘り強く自己評価できるようにする。	・指導事項 正弦定理・余弦定理 ・教材 教科書、問題集、参考書等 グラフ描画アプリの活用等	【知識・技能】 定期考査 【思考・判断・表現】 定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 課題提出	○	○	○	8	
	データの分析 【知識及び技能】分散、標準偏差、散布図及び相関係数の意味やその用い方を理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】目的に応じて複数の種類のデータを収集し、適切な統計量やグラフ、手法などを選択して分析を行い、データの傾向を把握して事象の特徴を表現すること。 【主体的に学習に取り組む態度】数学的な要素を見出し、目的に応じて数学を活用して興味・関心を持ち、適切に求められるようにする。	・指導事項 データの代表値 分散、標準偏差 ・教材 教科書、問題集、参考書等 表計算ソフトの活用等	【知識・技能】 定期考査 【思考・判断・表現】 定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 課題提出	○	○	○	7	
1 2 月	定期考査			○	○		1	
合計								62

高等学校 令和6年度(3学年用) 教科 数学 科目 数学演習ⅠA

教科: 数学 科目: 数学演習ⅠA 単位数: 4 単位

対象学年組: 第 3 学年 1 組～ 7 組 選択

使用教科書: (改訂版高等学校数学Ⅰ, 改訂版高等学校数学A, 新課程 シニア 数学演習Ⅰ・Ⅱ・A・B・C [ベクトル] 受験編)

教科 数学 の目標:

- 【知識及び技能】数学における基本的な概念や原理などを体系的に理解し、数学的に表現・処理する技能を身に付ける。
- 【思考力、判断力、表現力等】数学を活用して論理的に考察する、思考の過程を統合的・発展的に考察して表現する力を身に付ける。
- 【学びに向かう力、人間性等】数学のよさを認識し、数学的論拠による判断、問題解決の過程を振り返って粘り強く自己評価できるようにする。

科目 数学演習ⅠA の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理、規則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表す、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

1 学期	4 月	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		【知識及び技能】二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深めること。 【思考力、判断力、表現力等】問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすること。 【主体的に学習に取り組む態度】数学のよさを認識し、数学的論拠による判断、問題解決の過程を振り返って粘り強く自己評価できるようにする。	・指導事項 因数分解 実数 1次不等式 ・教材 教科書、問題集、参考書	【知識・技能】 定期考査 【思考・判断・表現】 定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 課題提出	○	○	○	10
5 月	【知識及び技能】確率の意味や基本的な法則について理解を深め、事象の確率や期待値を求めること。 【思考力、判断力、表現力等】確率の性質や法則に着目し、確率を求める方法を多面的に考察すること。 【主体的に学習に取り組む態度】確率の求め方の違いを考察して興味・関心を持ち、適切に求められるようにする。	・指導事項 独立な試行の確率 条件付き確率、期待値 ・教材 教科書、問題集、参考書等	【知識・技能】 定期考査、課題提出 等 【思考・判断・表現】 定期考査、課題提出 等 【主体的に学習に取り組む態度】 課題提出、授業の取り組み 等	○	○	○	16	
	定期考査			○	○		1	
6 月	【知識及び技能】集合と命題に関する基本的な概念を理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】集合の考えを用いて論理的に考察し、簡単な命題を証明すること。 【主体的に学習に取り組む態度】数学のよさを認識し、数学的論拠による判断、問題解決の過程を振り返って粘り強く自己評価できるようにする。	・指導事項 命題と証明 命題と条件 ・教材 教科書、問題集、参考書等	【知識・技能】 定期考査 【思考・判断・表現】 定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 課題提出	○	○	○	16	
	定期考査			○	○		1	
7 月	【知識及び技能】三角形、円などの基本図形に関する性質について理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】図形の新たな性質を見出し、その性質を論理的に考察して説明できること。 【主体的に学習に取り組む態度】複雑な図形において、性質の利用方法に関して興味・関心を持ち、適切に求められるようにする。	・指導事項 三角形の辺の比 三角形の外心・内心・重心 ・教材 教科書、問題集、参考書等	【知識・技能】 定期考査、課題提出 等 【思考・判断・表現】 定期考査、課題提出 等 【主体的に学習に取り組む態度】 課題提出、授業の取り組み 等	○	○	○	14	
	定期考査			○	○		1	
9 月	【知識及び技能】二次関数の値の変化やグラフの特徴について理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】二次関数の式とグラフとの関係について、コンピュータなどの情報機器を用いてグラフをかくなどして多面的に考察すること。 【主体的に学習に取り組む態度】数学のよさを認識し、数学的論拠による判断、問題解決の過程を振り返って粘り強く自己評価できるようにする。	・指導事項 関数とグラフ 2次関数のグラフ ・教材 教科書、問題集、参考書等 グラフ描画アプリの活用等	【知識・技能】 定期考査 【思考・判断・表現】 定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 課題提出	○	○	○	16	
	定期考査			○	○		1	
10 月	【知識及び技能】数学に関する概念と人間の活動との関わりについて理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】数量や図形に関する概念などを、関心に基づいて発展させ考察すること。 【主体的に学習に取り組む態度】数学的な要素を見出し、目的に応じて数学を活用して興味・関心を持ち、適切に求められるようにする。	・指導事項 約数と倍数 素数と素因数分解 最大公約数・最小公倍数 ・教材 教科書、問題集、参考書等	【知識・技能】 定期考査、課題提出 等 【思考・判断・表現】 定期考査、課題提出 等 【主体的に学習に取り組む態度】 課題提出、授業の取り組み 等	○	○	○	14	
	定期考査			○	○		1	
11 月	【知識及び技能】正弦定理や余弦定理について三角形の決定条件や三平方の定理と関連付けて理解し、三角形の辺の長さや角の大きさなどを求めること。 【思考力、判断力、表現力等】図形の構成要素間の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすること。 【主体的に学習に取り組む態度】数学のよさを認識し、数学的論拠による判断、問題解決の過程を振り返って粘り強く自己評価できるようにする。	・指導事項 正弦定理・余弦定理 ・教材 教科書、問題集、参考書等 グラフ描画アプリの活用等	【知識・技能】 定期考査 【思考・判断・表現】 定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 課題提出	○	○	○	16	
	定期考査			○	○		1	
12 月	【知識及び技能】分散、標準偏差、散布図及び相関係数の意味やその用い方を理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】目的に応じて複数の種類のデータを収集し、適切な統計量やグラフ、手法などを選択して分析を行い、データの傾向を把握して事象の特徴を表現すること。 【主体的に学習に取り組む態度】数学的な要素を見出し、目的に応じて数学を活用して興味・関心を持ち、適切に求められるようにする。	・指導事項 データの代表値 分散、標準偏差 ・教材 教科書、問題集、参考書等 表計算ソフトの活用等	【知識・技能】 定期考査 【思考・判断・表現】 定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 課題提出	○	○	○	14	
	定期考査			○	○		1	
合計								120

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 数学 科目 数学演習ⅡB

教科：数学 科目：数学演習ⅡB 単位数： 単位

対象学年組：第 3 学年 選択者

使用教科書：（数研出版 新課程 シニア 数学演習Ⅰ・Ⅱ・A・B 新課程）

教科 数学 の目標：

【知識及び技能】数学における基本的な概念や原理などを体系的に理解し、数学的に表現・処理する技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】数学を活用して論理的に考察する、思考の過程を統合的・発展的に考察して表現する力を身に付ける。

【学びに向かう力、人間性等】数学のよさを認識し、数学的論拠による判断、問題解決の過程を振り返って粘り強く自己評価できるようにする。

科目 数学演習ⅡB の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数学的な基礎概念や定理、公式を理解し、適切に適用する能力を育成。 数学的な方針や計画を立て、数学的問題を解決する能力を高める。 数学的なモデルや表現法を理解し、数学的な問題を数学的手法で解決する能力を向上させる。 数学的な議論や検証を行うための基礎的な論理的思考能力を養う。 数学的な表現や記述を正確かつ適切に行い、数学的情報を適切に伝達する能力を高める。	数学的問題に対する論理的な思考力を育て、問題解決能力を高める。 問題解決において数値的情報を整理し、問題の本質を把握する能力を向上させる。 数学的な概念や結果を分析し、適切な判断を行う能力を高める。 数学的なアイデアやアプローチを効果的に伝え、他者とのコミュニケーション能力を向上させる。 数学的な問題解決において柔軟な発想や創造性を発揮し、新たな解決策を見出す能力を養う。	自ら学習の目標を設定し、その達成に向けて主体的に取り組む姿勢を育成。 数学的な問題解決に対して積極的な姿勢を持ち、解決策を見出すために努力する態度を培う。 学習における困難や挫折を乗り越え、学びの過程を楽しむ意識を育む。 自己評価や反省を行い、学習の成長や課題を正しく認識し継続的な学習を促進する態度を養う。 グループやペアを活用して協力学習を行い、他者との学び合いを通して自己成長を促す態度を培う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態			配当 時数
				知	思	態	
1 学 期	A 単元 数と式（数学Ⅰ）： 知識・技能：式の計算と式の値を理解する。 思考力・判断力・表現力：数式を解釈し、問題を解く能力を養う。 主体的に学習に取り組む態度：問題に対して積極的に学習に取り組む、解決策を見出す姿勢を養う。	・指導事項 ・因数分解・実数・1次不等式 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 定期調査、課題提出 等 【思考・判断・表現】 定期調査、課題提出 等 【主体的に学習に取り組む態度】 課題提出、授業の取り組み 等	○	○	○	8
	B 単元 集合と命題（数学Ⅰ） 知識・技能：集合と命題の概念を理解し、基本的な命題を解く。 思考力・判断力・表現力：論理的思考を養い、命題の真偽を判断する能力を向上させる。 主体的に学習に取り組む態度：問題解決に向けて自ら考え、議論する意欲を育てる。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 定期調査、課題提出 等 【思考・判断・表現】 定期調査、課題提出 等 【主体的に学習に取り組む態度】 課題提出、授業の取り組み 等	○	○	○	8
	C 単元 2次関数（数学Ⅰ）： 知識・技能：関数とグラフを理解し、2次関数の性質を学ぶ。 思考力・判断力・表現力：数学的モデルを構築し、関数の特徴を分析する能力を養う。 主体的に学習に取り組む態度：問題解決に向けて自ら考え、発見する能力を高める。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 定期調査、課題提出 等 【思考・判断・表現】 定期調査、課題提出 等 【主体的に学習に取り組む態度】 課題提出、授業の取り組み 等	○	○	○	8
	D 単元 図形と計量（数学Ⅰ）： 知識・技能：三角比の基本を理解し、図形の面積や体積を計算する方法を学ぶ。 思考力・判断力・表現力：幾何学の問題を解決し、証明する能力を養う。 主体的に学習に取り組む態度：困難な問題にもチャレンジし、解決に向けて継続的に努力する姿勢を培う。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 定期調査、課題提出 等 【思考・判断・表現】 定期調査、課題提出 等 【主体的に学習に取り組む態度】 課題提出、授業の取り組み 等	○	○	○	8
	E 単元 データの分析（数学Ⅰ）： 知識・技能：データを分析し、統計的手法を用いて情報を解釈する。 思考力・判断力・表現力：データのパターンや傾向を把握し、意味のある結論を導く能力を養う。 主体的に学習に取り組む態度：自らの興味や関心に基づいてデータを探索し、問題解決に取り組む積極的な姿勢を持つ。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 定期調査、課題提出 等 【思考・判断・表現】 定期調査、課題提出 等 【主体的に学習に取り組む態度】 課題提出、授業の取り組み 等	○	○	○	8
	場合の数と確率（数学A）： 知識・技能：場合の数と組合せの基本を理解し、確率を計算する方法を学ぶ。 思考力・判断力・表現力：確率の問題に対して論理的なアプローチを取り、解決策を見出す能力を養う。 主体的に学習に取り組む態度：複雑な確率問題に対して自ら考え、解決策を模索する姿勢を育む		【知識・技能】 定期調査、課題提出 等 【思考・判断・表現】 定期調査、課題提出 等 【主体的に学習に取り組む態度】 課題提出、授業の取り組み 等	○	○	○	8
	図形の性質（数学A）： 知識・技能：図形の性質や公式を理解し、幾何学の問題を解く。 思考力・判断力・表現力：幾何学の問題を論理的に解決し、解答を正確に表現する能力を向上させる。 主体的に学習に取り組む態度：図形の特性や性質を自ら探究し、理解を深める自主学習の姿勢を養う。		【知識・技能】 定期調査、課題提出 等 【思考・判断・表現】 定期調査、課題提出 等 【主体的に学習に取り組む態度】 課題提出、授業の取り組み 等	○	○	○	8
	整数の性質（数学A）： 知識・技能：整数の性質や操作法を理解し、問題を解決する。 思考力・判断力・表現力：整数に関する問題に対して論理的に考え、解答を適切に表現する能力を養う。 主体的に学習に取り組む態度：挑戦的な問題に対して自ら取り組み、継続的に学習を深める自主的な姿勢を培う。		【知識・技能】 定期調査、課題提出 等 【思考・判断・表現】 定期調査、課題提出 等 【主体的に学習に取り組む態度】 課題提出、授業の取り組み 等	○	○	○	8

2 学 期	A 単元 式と証明 (数学I) : 知識・技能: 式の変形や証明の基本を理解し、数学的な主張を説明する 思考力・判断力・表現力: 論理的思考を発展させ、数学的主張を正確に証明する能力を向上させる。 主体的に学習に取り組む態度: 自らの興味を追求し、証明の過程を深めるために積極的に学び続ける姿勢を持つ。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 定期考査、課題提出 等 【思考・判断・表現】 定期考査、課題提出 等 【主体的に学習に取り組む態度】 課題提出、授業の取り組み 等	○	○	○	8	
	B 単元 複素数と方程式 (数学II) : 知識・技能: 複素数の基本的な概念を理解し、方程式を解く方法を学ぶ 思考力・判断力・表現力: 複素数を用いて方程式を解決し、数学的問題に対する発想力を高める。 主体的に学習に取り組む態度: 数学的問題に対して自ら考え、解決策を見出すために主体的に学習に取り組む姿勢を育む。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 定期考査、課題提出 等 【思考・判断・表現】 定期考査、課題提出 等 【主体的に学習に取り組む態度】 課題提出、授業の取り組み 等	○	○	○	8	
	C 単元 図形と方程式 (数学II) : 知識・技能: 図形の方程式とそのグラフを理解し、問題を解決する。 思考力・判断力・表現力: 図形と方程式の関係を理解し、問題を論理的に解決する能力を向上させる。 主体的に学習に取り組む態度: 図形と方程式に関する問題に自ら挑戦し、継続的に学習を深める姿勢を培う。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 定期考査、課題提出 等 【思考・判断・表現】 定期考査、課題提出 等 【主体的に学習に取り組む態度】 課題提出、授業の取り組み 等	○	○	○	8	
	D 単元 三角関数 (数学II) : 知識・技能: 三角関数の概念と性質を理解し、三角関数のグラフを描く。 思考力・判断力・表現力: 三角関数を用いて数学的問題を解決し、論理的なアプローチを発展させる。 主体的に学習に取り組む態度: 数学的な興味や関心に基づいて三角関数を探究し、理解を深めるために主体的に学習に取り組む姿勢を育む。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 定期考査、課題提出 等 【思考・判断・表現】 定期考査、課題提出 等 【主体的に学習に取り組む態度】 課題提出、授業の取り組み 等	○	○	○	8	
	E 単元 指数関数・対数関数 (数学II) : 知識・技能: 指数関数と対数関数の基本的な性質を理解し、計算を行う。 思考力・判断力・表現力: 指数関数と対数関数を用いて数学的問題を解決し、抽象的な考え方を発展させる。 主体的に学習に取り組む態度: 数学的問題に自ら挑戦し、新しいアイデアや解決策を見出すために主体的に学習に取り組む姿勢を培う。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 定期考査、課題提出 等 【思考・判断・表現】 定期考査、課題提出 等 【主体的に学習に取り組む態度】 課題提出、授業の取り組み 等	○	○	○	8	
E 単元 微分法・積分法 (数学II) : 知識・技能: 微分法と積分法の基本的な概念を理解し、関数の増減や極値を求める。 思考力・判断力・表現力: 微分法と積分法を用いて数学的問題を解決し、問題解決能力を向上させる。 主体的に学習に取り組む態度: 数学的問題に対して自らアプローチし、新しい解決策を見出すために主体的に学習に取り組む姿勢を育む。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 定期考査、課題提出 等 【思考・判断・表現】 定期考査、課題提出 等 【主体的に学習に取り組む態度】 課題提出、授業の取り組み 等	○	○	○	8		
3 学 期	E 単元 数列 (数学B) : 知識・技能: 等差数列や等比数列の性質を理解し、数列の漸化式や和を求める。 思考力・判断力・表現力: 数列に関する問題を論理的に解決し、解答を適切に表現する能力を養う。 主体的に学習に取り組む態度: 数列の性質やパターンを自ら発見し、問題解決に取り組む姿勢を培う。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 定期考査、課題提出 等 【思考・判断・表現】 定期考査、課題提出 等 【主体的に学習に取り組む態度】 課題提出、授業の取り組み 等	○	○	○	8	
	E 単元 統計的な推測 (数学B) : 知識・技能: 統計的手法を用いてデータを解釈し、推測や予測を行う。 思考力・判断力・表現力: 統計データを分析し、意味のある結論を導く能力を向上させる。 主体的に学習に取り組む態度: データの	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 定期考査、課題提出 等 【思考・判断・表現】 定期考査、課題提出 等 【主体的に学習に取り組む態度】 課題提出、授業の取り組み 等	○	○	○	8	
	単元 ベクトル (数学C) : 知識・技能: ベクトルの基本的な操作や性質を理解し、幾何学的な問題を解決する。 思考力・判断力・表現力: ベクトルを用いて幾何学的問題を解決し、論理的なアプローチを発展させる。 主体的に学習に取り組む態度: 新しい数学的概念や技術に積極的に取り組み、自らの学習をより一層深める姿勢を培う。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 定期考査、課題提出 等 【思考・判断・表現】 定期考査、課題提出 等 【主体的に学習に取り組む態度】 課題提出、授業の取り組み 等	○	○	○	8	
	まとめ	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 定期考査、課題提出 等 【思考・判断・表現】 定期考査、課題提出 等 【主体的に学習に取り組む態度】 課題提出、授業の取り組み 等	○	○	○	4	
							合計	140

高等学校 令和6年度（3学年用）教科 理科 科目 生物

教科：理科 科目：生物 単位数：6 単位

対象学年組：第3学年 1組～7組

使用教科書：（高等学校 生物（第一学習社））

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察・実験などに関する技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 生物 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数			
1 学期 生物の進化 【知識及び技能】 生物の進化と系統について、形質および遺伝子の変化との関係から理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 生物の進化と系統について、形質および遺伝子の変化との関係から論理的に説明し、考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 生命現象と物質 【知識及び技能】 生命の設計図であるDNAを中心に、分子生物学の基礎的な知識を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 DNA研究の諸実験について、研究方法を科学的に理解し説明できる。形質発現について、塩基配列をもとにタンパク質合成が行われる過程を踏まえて、説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 パイオテクナロジーの発展がもたらす恩恵と倫理的な問題の両面を意識し、先端技術に対する自己の考えを形成する。	生命の起源と細胞の進化 遺伝子の変化 遺伝子の組み合わせの変化 進化の仕組み 生物の系統と進化 人類の系統と進化 生物物質と細胞 生命現象とタンパク質 呼吸 光合成	【知識・技能】 ・生命の起源と細胞の変化について理解している。 ・遺伝子の変化と遺伝子の組み合わせの変化について理解している。 ・進化のしくみについて理解している。 ・系統分類の方法を理解している。 ・進化の過程と形質の特徴を理解している。 【思考・判断・表現】 ・資料にもとづいて、特定の生物のグループの出現・繁栄が気候組成の変化と関りがあることを見出し、説明することができる。 ・塩基配列の変化と形質の変化の関係を説明することができる。 ・減数分裂や染色体の連鎖によって遺伝子の組み合わせが変化する過程を説明できる。 ・進化のしくみに関するモデル実験の結果にもとづいて、遺伝子頻度が変化する要因について説明することができる。 ・進化の過程に関する資料にもとづいて、形質的特徴と進化の関連について説明することができる。 ・分子時計を用いて主間関係や分岐時期の推定法を論理的に説明し、活用することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・生命の誕生や細胞の進化の学習において、自分の学習状況を振り返ったり、新たに生じた疑問やそれを解決する方法などを模索したりしている。 ・遺伝子の変化、遺伝子の組み合わせの変化の学習において、自分の学習状況を振り返ったり、新たに生じた疑問やそれを解決する方法などを模索したりしている。 ・実験結果にもとづいて、遺伝子頻度が変化する要因について論理的に考察しようとする。 ・生物の系統と分類の学習において、自分の学習状況を振り返ったり、新たに生じた疑問やそれを解決する方法などを模索したりしている。 ・進化の過程の形質的特徴と進化の過程の関係を資料にもとづいて、論理的に説明しようとしている。 【知識・技能】 ・細胞を構成する物質の構造と性質について理解している。 ・タンパク質の構造と性質および生命現象への関わりについて理解している。 ・代謝における化学変化の過程を理解している。 【思考・判断・表現】 ・真核細胞内の細胞骨格や構造体の特徴について説明することができる。 ・生体内に存在するタンパク質がそれぞれ特有の働きをもつ理由を説明することができる。 ・さまざまな膜輸送のしくみを説明することができる。 ・代謝における反応過程について、物質とエネルギーの両面から説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・細胞を構成する物質の学習において、自分の学習状況を振り返ったり、新たに生じた疑問やそれを解決する方法などを模索したりしている。 ・タンパク質の構造と性質の学習において、自分の学習状況を振り返ったり、新たに生じた疑問やそれを解決する方法などを模索したりしている。 ・加熱によるカタラーゼの働きの変化を検証する実験の結果から、温度と酵素活性の関係について考察しようとする。	○	○	○	31			
			遺伝子情報の発現と発生 【知識及び技能】 生命の設計図であるDNAを中心に、分子生物学の基礎的な知識を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 DNA研究の諸実験について、研究方法を科学的に理解し説明できる。形質発現について、塩基配列をもとにタンパク質合成が行われる過程を踏まえて、説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 パイオテクナロジーの発展がもたらす恩恵と倫理的な問題の両面を意識し、先端技術に対する自己の考えを形成する。	遺伝情報とその発現 遺伝子の発現調節 発生と遺伝子発現 遺伝子を扱う技術	【知識・技能】 ・DNAも複製と複製、遺伝子の転写と翻訳の過程、遺伝子の発現調節のしくみについて理解している。 ・遺伝子の発現と発生の進行の関係を理解している。 ・遺伝子を扱う技術の内容と活用について理解している。 【思考・判断・表現】 ・DNAの複製の過程を関係する酵素の特性をもとに説明することができる。 ・転写・翻訳の過程における、原核生物と真核生物の違いを説明することができる。 ・資料にもとづいて、状況に応じて必要な遺伝子の発現調節が行われていることを見出し、説明することができる。 ・器官形成には複数の遺伝子の発現調節が大きく関わっていることを説明することができる。 ・遺伝子の構造や発現の解析方法の方法について説明することができる。 ・遺伝子を扱う技術の進歩によって、どのような課題が生じているか説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・DNAを取り扱う技術とその基本原理について、自分の学習状況を振り返ったり、新たに生じた疑問やそれを解決する方法などを模索したりしている。 ・遺伝子を扱う技術の倫理的問題について、積極的に考えている。 ・発生に関わる遺伝子の発現調節の研究の過程について自分の学習状況を振り返ったり、新たに生じた疑問やそれを解決する方法などを模索したりしている。	○	○	○	35
			生物の環境応答 【知識及び技能】 ・ニューロンの構造と働きをもとに、刺激の受容から反応までの過程を理解している。 ・神経回路の働きをもとに、動物の生得的行動と習得的行動について理解している。 ・植物ホルモンの働きをもとに、植物の一生を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 脳内のネットワークが恒常性を維持するしくみを説明できる。体が外環境から大きな影響を受けたときに、体内ではどのような変化が起こるのかを推定できる。 【学びに向かう力、人間性等】 体内の恒常性のしくみの理解を生かして、健康を意識した生活を送る。	刺激の受容と反応 動物の行動 植物と環境 植物の一生とホルモン	【知識・技能】 ・興奮の発生やニューロン間を伝わるしくみを化学物質の挙動をもとに論理的に説明することができる。 ・動物の行動に関する実験について、自ら実験を計画することができる。 ・植物ホルモンの植物の生活に及ぼす影響を論理的に説明することができる。 【思考・判断・表現】 ・興奮の発生やニューロン間を伝わるしくみを化学物質の挙動をもとに論理的に説明することができる。 ・動物の行動に関する実験について、自ら実験を計画することができる。 ・植物ホルモンの植物の生活に及ぼす影響を論理的に説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・実験に積極的に取り組んでいる。 ・神経系による情報の伝達のしくみの学習において、自分の学習状況を振り返ったり、新たに生じた疑問やそれを解決する方法などを模索したりしている。 ・動物の行動について、自分の経験などをもとに関心をもって学習に取り組んでいる。 ・植物の一生とホルモンの関係の学習において、自分の学習状況を振り返ったり、新たに生じた疑問やそれを解決する方法などを模索したりしている。	○	○	○	42
生態と環境 【知識及び技能】 生態系における生物相互の関係、物質の循環やエネルギーの流れについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 生態調査の方法について、論理的に説明でき、計画することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 生物多様性の保全について、総合的な視点から考え、行動しようとする。	個体群と生物群集 生態系の物質生産と消費 生態系と人間生活	【知識及び技能】 ・個体群と相互作用について理解している。 ・生態系は、非生物的環境と生物からなることを理解している。 ・生態系における物質生産について理解している。 ・人間活動が生態系や生物多様性に及ぼす影響について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・標本調査の方法を用いて生物の個体数を推定することができる。 ・層別取法により生産構造図を作成することができる。 ・生息地の分析や乱獲、気候変動、外来生物の侵入などが、生物多様性を低下させるしくみについて説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・個体群と生物群集の学習において、見通しをもって取り組んだり、学びを振り返ったりするなど、自らの考えを調整しながら理解しようとしている。 ・生態系の各栄養段階の物質収支について自分の学習状況を振り返ったり、新たに生じた疑問やそれを解決する方法などを模索したりしている。 ・生物多様性の保全について、積極的に学習し行動しようとしている。	○	○	○	38			
総合演習 【知識及び技能】 入試問題演習を通して生命現象の理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 入試問題演習を通して、論理的に思考、判断、表現する力を伸ばす。 【学びに向かう力、人間性等】 入試問題演習を通して、生物に対する関心を高める。		【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○		2			
						合計			
						130			

高等学校 令和6年度（3学年用）教科 理科 科目 物理

教科：理科 科目：物理 単位数：6 単位

対象学年組：第3学年 1組～8組
使用教科書：（高等学校 物理（数研出版））

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察・実験などに関する技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 物理 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
物理学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察・実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	力学、電磁気、熱、波動、原子物理の各分野の概念が相互に関連していることを理解できるようにする。	森羅万象に主体的に関わり、それらを物理学的に探究しようとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	記 時 数			
<p>円運動</p> <p>【知識及び技能】 円運動の原因となる力の特徴を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 円運動についての運動方程式が正しく立式できる。 【学びに向かう力、人間性等】 円運動を含む力学的エネルギー保存則など、自然現象物理法則で包括的に見る。</p> <p>単振動</p> <p>【知識及び技能】 単振動の原因となる力の特徴を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 単振動についての運動方程式、角振動数が正しく立式できる。 【学びに向かう力、人間性等】 単振動を含む力学的エネルギー保存則など、自然現象物理法則で包括的に見る。</p> <p>運動量と力積</p> <p>【知識・技能】 ・運動量と力積の関係を正確に理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・運動量や力積がベクトル量であることを理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・衝突、分裂、合体の場面に對して正しく物理法則を扱える。</p> <p>熱力学</p> <p>【知識及び技能】 気体を扱う為に必要な物理量を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ミクロスコピックな気体のモデルとマクロ現象が結びつく。 【学びに向かう力、人間性等】 アボガドロ数のレベルの数で粒子を扱うとき統計学的な見方が可能になることに気が付く。</p>	<p>向心加速度 向心力 慣性力</p> <p>角振動数 復元力 周期</p> <p>運動量 力積 運動量保存則 反発係数</p> <p>理想気体の状態方程式 熱力学の第1法則 状態変化 ボルツマン定数 2乗平均速度</p>	<p>【知識・技能】 ・様々な場合の向心力を正確に理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・複雑な力が物体に働く環境に對して、正しく運動方程式を立式できている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・円運動が生じる現象に自ら気が付き、更に同時に成立するその他の法則も合わせて分析できている。</p> <p>【知識・技能】 ・様々な場合の復元力を正確に理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・等速円運動の正射影が単振動であることを理解し、角速度と角振動数の関係性が理解できている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・単振動が生じる現象に自ら気が付き、更に同時に成立するその他の法則も合わせて分析できている。</p> <p>【知識・技能】 ・運動量と力積の関係を正確に理解できている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・運動量や力積がベクトル量であることを理解できている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・衝突、分裂、合体の場面に對して正しく物理法則を扱えている。</p> <p>【知識及び技能】 気体を扱う為に必要な物理量を理解できている。 【思考力、判断力、表現力等】 ミクロスコピックな気体のモデルとマクロ現象が結びついている。 【学びに向かう力、人間性等】 アボガドロ数のレベルの数で粒子を扱うとき統計学的な見方が可能になることに気が付いている。</p>							
	<p>1学期</p> <p>定期考査</p>			○	○		1		
	<p>電磁気学</p> <p>【知識及び技能】 電場や電位という概念が明確に理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 電場や電位の概念から、回路内での電磁気現象を理解できる。 【学びに向かう力、人間性等】 電磁気現象を特殊な現象と捉えず、力学的に捉えられる。</p> <p>原子</p> <p>【知識及び技能】 ミクロの世界や光速の世界に對する現代的な物理的解釈を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 現代的な物理的解釈から想像される様々な物理現象を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 現代物理学の特徴を把握し、最先端の物理学に興味を持つ。</p>	<p>点電荷 コンデンサー 直列回路 電流と磁場 電磁誘導 交流</p> <p>電子の発見 光の2重性 コンプトン効果 光電効果 原子モデル 放射線 原子核</p>	<p>【知識及び技能】 電場や電位という概念が明確に理解できている。 【思考力、判断力、表現力等】 電場や電位の概念から、回路内での電磁気現象を理解できている。 【学びに向かう力、人間性等】 電磁気現象を特殊な現象と捉えず、力学的に捉えられている。</p> <p>【知識及び技能】 ミクロの世界や光速の世界に對する現代的な物理的解釈を理解できている。 【思考力、判断力、表現力等】 現代的な物理的解釈から想像される様々な物理現象を理解できている。 【学びに向かう力、人間性等】 現代物理学の特徴を把握し、最先端の物理学に興味を持っている。</p>				○	○	
<p>2学期</p> <p>定期考査</p>			○	○		1			
<p>総合演習</p> <p>【知識及び技能】 全単元を横断した知識や考え方が身に付く。 【思考力、判断力、表現力等】 獲得した知識や考え方を基に、複雑な現象を説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 単元の枠を超えた発想で、あらゆる現象を物理学的に考察する。</p>	全単元	<p>【知識及び技能】 全単元を横断した知識や考え方が身に付いている。 【思考力、判断力、表現力等】 獲得した知識や考え方を基に、複雑な現象を説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 単元の枠を超えた発想で、あらゆる現象を物理学的に考察している。</p>						42	
<p>3学期</p> <p>定期考査</p>			○	○		2			
<p>総合演習</p> <p>【知識及び技能】 全単元を横断した知識や考え方が身に付く。 【思考力、判断力、表現力等】 獲得した知識や考え方を基に、複雑な現象を説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 単元の枠を超えた発想で、あらゆる現象を物理学的に考察する。</p>	全単元	<p>【知識及び技能】 全単元を横断した知識や考え方が身に付いている。 【思考力、判断力、表現力等】 獲得した知識や考え方を基に、複雑な現象を説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 単元の枠を超えた発想で、あらゆる現象を物理学的に考察している。</p>						60	
							合計	130	

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 理科 科目 地球環境の科学

教科：理科 科目：地球環境の科学 単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 1組～7組

使用教科書：（地学基礎 東京書籍）

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察・実験などに関する技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】問題演習を通して、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 地球環境の科学 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら、地球や地球を取り巻く環境について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	ICT端末を使った調べ学習やその他のメディアを活用し地球の現状を知るとともに、必要に応じて観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	地球や地球を取り巻く環境に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と自然環境の保全に寄与する態度を養う。

1	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	私たちの大地 【知識及び技能】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する基礎的な知識や法則の活用方法、関連する現象を理解するための観察・実験についての基本的な技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する現象についての観察・実験や問題演習等を行い、科学的に探究する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 指導項目・内容に挙げた項目を学ぶなかで、主体的に試行錯誤しながら自己の学習の状況を振り返り、課題を把握する。	地学のむかしといま 地球の形と大きさ 地球の構造 地球内部の動きとプレート 大地形の形成と地質構造 変成岩と変成作用 火山噴火の多様性 火成岩 地震の発生 地震が起こる場所	【知識及び技能】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する基礎的な知識や法則の活用方法、関連する現象を理解するための観察・実験についての基本的な技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する現象についての観察・実験や問題演習等を行い、科学的に探究する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 指導項目・内容に挙げた項目を学ぶなかで、主体的に試行錯誤しながら自己の学習の状況を振り返り、課題を把握し調整することが出来る。	○	○	○	10
	総合演習 【知識及び技能】 標準～応用レベルの入試問題に求められる知識が身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 標準～応用レベルの入試問題を解答するために求められる思考力、判断力、表現力を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】 本単元の内容に興味を持ち、自ら文献等を調べる。	基礎～標準レベルの入試問題演習 分野ごとの練習問題 一問一答形式の問題 文章完成形式の問題 記述形式の問題 融合問題 共通テスト形式の問題 論述形式の問題	【知識・技能】 ・化学基礎の用語とその意味を理解している。 ・化学実験の基本的な操作方法について理解している。 【思考・判断・表現】 ・異なる分野を組み合わせた問題を論理的に考えることができ、自分の言葉で説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・興味や好奇心をもって入試問題に取り組み、化学への理解を深めようとしている。	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
2 学期	総合演習 【知識及び技能】 標準～応用レベルの入試問題に求められる知識が身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 標準～応用レベルの入試問題を解答するために求められる思考力、判断力、表現力を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】 本単元の内容に興味を持ち、自ら文献等を調べる。	基礎～標準レベルの入試問題演習 分野ごとの練習問題 一問一答形式の問題 文章完成形式の問題 記述形式の問題 融合問題 共通テスト形式の問題 論述形式の問題	【知識・技能】 ・化学基礎の用語とその意味を理解している。 ・化学実験の基本的な操作方法について理解している。 【思考・判断・表現】 ・異なる分野を組み合わせた問題を論理的に考えることができ、自分の言葉で説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・興味や好奇心をもって入試問題に取り組み、化学への理解を深めようとしている。	○	○	○	25
	定期考査			○	○		1
3 学期	総合演習 【知識及び技能】 標準～応用レベルの入試問題に求められる知識が身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 標準～応用レベルの入試問題を解答するために求められる思考力、判断力、表現力を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】 問題演習を通して、化学現象の理解を深化させようとする姿勢をもつ。	分野ごとの練習問題 一問一答形式の問題 文章完成形式の問題 記述形式の問題 融合問題 共通テスト形式の問題 論述形式の問題	【知識・技能】 ・化学基礎の用語とその意味を理解している。 ・化学実験の基本的な操作方法について理解している。 【思考・判断・表現】 ・異なる分野を組み合わせた問題を論理的に考えることができ、自分の言葉で説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・興味や好奇心をもって入試問題に取り組み、化学への理解を深めようとしている。	○	○	○	22
							合計 70

年間授業計画

向丘 高等学校 令和6年度(3学年用) 教科：理科 科目：化学

教科：理科

科目：化学

単位数：6 単位

対象学年組：第 3 学年 選択組～組

使用教科書：（ 高等学校 化学 第一学習社

）

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に

【思考力、判断力、表現力等】 観察・実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 自然の事物・現象に主体的にかかわり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 化学 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深めるとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	化学的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	評価の観点			配当 時数
			知	思	態	
物質の状態変化 【知識及び技能】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する基礎的な知識や法則の活用方法、関連する現象を理解するための観察・実験についての基本的な技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する現象についての観察・実験や問題演習等を行い、科学的に探究する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 指導項目・内容に挙げた項目を学ぶなかで、主体的に試行錯誤しながら自己の学習の状況を振り返り、課題を把握する。	物質の三態とその変化 気体分子の熱運動と圧力 飽和蒸気圧と蒸気圧曲線 問題演習	【知識及び技能】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する基礎的な知識や法則の活用方法、関連する現象を理解するための観察・実験についての基本的な技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する現象についての観察・実験や問題演習等を行い、科学的に探究する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 指導項目・内容に挙げた項目を学ぶなかで、主体的に試行錯誤しながら自己の学習の状況を振り返り、課題を把握し調整することが出来る。	○	○	○	4
気体の性質 【知識及び技能】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する基礎的な知識や法則の活用方法、関連する現象を理解するための観察・実験についての基本的な技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する現象についての観察・実験や問題演習等を行い、科学的に探究する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 指導項目・内容に挙げた項目を学ぶなかで、主体的に試行錯誤しながら自己の学習の状況を振り返り、課題を把握する。	ボイルの法則 シャルルの法則 ボイルシャルルの法則 気体の状態方程式 実在気体の状態方程式 理想気体と実在気体 問題演習	【知識及び技能】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する基礎的な知識や法則の活用方法、関連する現象を理解するための観察・実験についての基本的な技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する現象についての観察・実験や問題演習等を行い、科学的に探究する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 指導項目・内容に挙げた項目を学ぶなかで、主体的に試行錯誤しながら自己の学習の状況を振り返り、課題を把握し調整することが出来る。	○	○	○	7
固体の構造 【知識及び技能】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する基礎的な知識や法則の活用方法、関連する現象を理解するための観察・実験についての基本的な技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する現象についての観察・実験や問題演習等を行い、科学的に探究する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 指導項目・内容に挙げた項目を学ぶなかで、主体的に試行錯誤しながら自己の学習の状況を振り返り、課題を把握する。	化学結合と結晶の種類 金属結晶の構造 イオン結晶の構造 共有結合の結晶の構造 分子結晶の構造 非晶質 問題演習	【知識及び技能】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する基礎的な知識や法則の活用方法、関連する現象を理解するための観察・実験についての基本的な技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する現象についての観察・実験や問題演習等を行い、科学的に探究する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 指導項目・内容に挙げた項目を学ぶなかで、主体的に試行錯誤しながら自己の学習の状況を振り返り、課題を把握し調整することが出来る。	○	○	○	6
液体の性質 【知識及び技能】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する基礎的な知識や法則の活用方法、関連する現象を理解するための観察・実験についての基本的な技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する現象についての観察・実験や問題演習等を行い、科学的に探究する力を身に付けている。	溶解と溶液 ヘンリーの法則 蒸気圧降下 沸点上昇 凝固点効果 浸透圧 コロイド 問題演習	【知識及び技能】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する基礎的な知識や法則の活用方法、関連する現象を理解するための観察・実験についての基本的な技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する現象についての観察・実験や問題演習等を行い、科学的に探究する力を身に付けている。	○	○	○	6

1 学 期	<p>する現象についての観察・実験や問題演習等を行い、科学的に探究する力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 指導項目・内容に挙げた項目を学ぶなかで、主体的に試行錯誤しながら自己の学習の状況を振り返り、課題を把握する。</p>		<p>【学びに向かう力、人間性等】 指導項目・内容に挙げた項目を学ぶなかで、主体的に試行錯誤しながら自己の学習の状況を振り返り、課題を把握し調整することが出来る。</p>	○	○	○	○	
	<p>化学反応と熱・光</p> <p>【知識及び技能】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する基礎的な知識や法則の活用方法、関連する現象を理解するための観察・実験についての基本的な技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する現象についての観察・実験や問題演習等を行い、科学的に探究する力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 指導項目・内容に挙げた項目を学ぶなかで、主体的に試行錯誤しながら自己の学習の状況を振り返り、課題を把握する。</p>	<p>化学反応とエネルギー エンタルピー変化 熱化学方程式 エネルギー図 反応エンタルピーの種類 ヘスの法則 結合エネルギー 化学反応と光 エントロピー エンタルピーとエントロピーに関する実験 自発的な変化とギブズエネルギー 問題演習</p>	<p>【知識及び技能】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する基礎的な知識や法則の活用方法、関連する現象を理解するための観察・実験についての基本的な技能を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する現象についての観察・実験や問題演習等を行い、科学的に探究する力を身に付けている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 指導項目・内容に挙げた項目を学ぶなかで、主体的に試行錯誤しながら自己の学習の状況を振り返り、課題を把握し調整することが出来る。</p>	○	○	○	○	12
	定期考査(1学期中間考査)			○	○			1
	考査返却・単元の振り返り					○		1
	<p>電池・電気分解</p> <p>【知識及び技能】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する基礎的な知識や法則の活用方法、関連する現象を理解するための観察・実験についての基本的な技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する現象についての観察・実験や問題演習等を行い、科学的に探究する力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 指導項目・内容に挙げた項目を学ぶなかで、主体的に試行錯誤しながら自己の学習の状況を振り返り、課題を把握する。</p>	<p>電池の仕組み ボルタ電池 ダニエル電池 マンガン乾電池 鉛蓄電池 燃料電池 リチウムイオン電池 電気分解 ファラデーの法則 電解精錬 熔融塩電解 問題演習</p>	<p>【知識及び技能】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する基礎的な知識や法則の活用方法、関連する現象を理解するための観察・実験についての基本的な技能を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する現象についての観察・実験や問題演習等を行い、科学的に探究する力を身に付けている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 指導項目・内容に挙げた項目を学ぶなかで、主体的に試行錯誤しながら自己の学習の状況を振り返り、課題を把握し調整することが出来る。</p>	○	○	○	○	12
	<p>化学反応の速さ</p> <p>【知識及び技能】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する基礎的な知識や法則の活用方法、関連する現象を理解するための観察・実験についての基本的な技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する現象についての観察・実験や問題演習等を行い、科学的に探究する力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 指導項目・内容に挙げた項目を学ぶなかで、主体的に試行錯誤しながら自己の学習の状況を振り返り、課題を把握する。</p>	<p>反応速度 反応速度式と反応速度定数 化学反応の速さと濃度 化学反応の速さと温度 触媒 問題演習</p>	<p>【知識及び技能】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する基礎的な知識や法則の活用方法、関連する現象を理解するための観察・実験についての基本的な技能を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する現象についての観察・実験や問題演習等を行い、科学的に探究する力を身に付けている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 指導項目・内容に挙げた項目を学ぶなかで、主体的に試行錯誤しながら自己の学習の状況を振り返り、課題を把握し調整することが出来る。</p>	○	○	○	○	6
	<p>化学平衡</p> <p>【知識及び技能】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する基礎的な知識や法則の活用方法、関連する現象を理解するための観察・実験についての基本的な技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する現象についての観察・実験や問題演習等を行い、科学的に探究する力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 指導項目・内容に挙げた項目を学ぶなかで、主体的に試行錯誤しながら自己の学習の状況を振り返り、課題を把握する。</p>	<p>可逆反応 化学平衡 平衡定数 圧平衡定数 ルシャトリエの原理 濃度変化と平衡移動 共通イオン効果 圧力変化と平衡移動 温度変化と平衡移動 ルシャトリエの原理の応用 反応速度定数と平衡定数の関係 問題演習</p>	<p>【知識及び技能】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する基礎的な知識や法則の活用方法、関連する現象を理解するための観察・実験についての基本的な技能を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する現象についての観察・実験や問題演習等を行い、科学的に探究する力を身に付けている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 指導項目・内容に挙げた項目を学ぶなかで、主体的に試行錯誤しながら自己の学習の状況を振り返り、課題を把握し調整することが出来る。</p>	○	○	○	○	12
	<p>電離平衡</p> <p>【知識及び技能】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する基礎的な知識や法則の活用方法、関連する現象を理解するための観察・実験についての基本的な技能を身に付ける。</p>	<p>弱酸・弱塩基の電離定数 電離度とpH 電離定数の応用 問題演習</p>	<p>【知識及び技能】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する基礎的な知識や法則の活用方法、関連する現象を理解するための観察・実験についての基本的な技能を身に付けている。</p>					

<p>指導項目・内容に挙げた項目に関連する基礎的な知識や法則の活用方法、関連する現象を理解するための観察・実験についての基本的な技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する現象についての観察・実験や問題演習等を行い、科学的に探究する力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 指導項目・内容に挙げた項目を学ぶなかで、主体的に試行錯誤しながら自己の学習の状況を振り返り、課題を把握する。</p>	<p>電離定数とpH 酸の段階電離 塩の性質と反応 弱酸、弱塩基の遊離 加水分解における平衡定数 緩衝作用 中和滴定曲線と緩衝作用 溶解度積 沈殿滴定 問題演習</p>	<p>知識や法則の活用方法、関連する現象を理解するための観察・実験についての基本的な技能を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する現象についての観察・実験や問題演習等を行い、科学的に探究する力を身に付けている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 指導項目・内容に挙げた項目を学ぶなかで、主体的に試行錯誤しながら自己の学習の状況を振り返り、課題を把握し調整することが出来る。</p>	○	○	○	12
<p>定期考査(1学期期末考査)</p>			○	○		1
<p>考査返却・単元の振り返り</p>					○	1
<p>非金属元素</p> <p>【知識及び技能】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する基礎的な知識や法則の活用方法、関連する現象を理解するための観察・実験についての基本的な技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する現象についての観察・実験や問題演習等を行い、科学的に探究する力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 指導項目・内容に挙げた項目を学ぶなかで、主体的に試行錯誤しながら自己の学習の状況を振り返り、課題を把握する。</p>	<p>水素 18族元素 -貴ガス- 17族元素 -ハロゲン- 16族元素 -酸素と硫黄- 15族元素 -窒素とリン- 14族元素 -炭素とケイ素- 無機化学工業 原子軌道</p>	<p>【知識及び技能】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する基礎的な知識や法則の活用方法、関連する現象を理解するための観察・実験についての基本的な技能を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する現象についての観察・実験や問題演習等を行い、科学的に探究する力を身に付けている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 指導項目・内容に挙げた項目を学ぶなかで、主体的に試行錯誤しながら自己の学習の状況を振り返り、課題を把握し調整することが出来る。</p>	○	○	○	2
<p>典型金属元素</p> <p>【知識及び技能】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する基礎的な知識や法則の活用方法、関連する現象を理解するための観察・実験についての基本的な技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する現象についての観察・実験や問題演習等を行い、科学的に探究する力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 指導項目・内容に挙げた項目を学ぶなかで、主体的に試行錯誤しながら自己の学習の状況を振り返り、課題を把握する。</p>	<p>アルカリ金属 アンモニアソーダ法 2族元素の単体 2族元素の化合物 両性金属 アルミニウム スズ・鉛とその化合物 問題演習</p>	<p>【知識及び技能】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する基礎的な知識や法則の活用方法、関連する現象を理解するための観察・実験についての基本的な技能を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する現象についての観察・実験や問題演習等を行い、科学的に探究する力を身に付けている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 指導項目・内容に挙げた項目を学ぶなかで、主体的に試行錯誤しながら自己の学習の状況を振り返り、課題を把握し調整することが出来る。</p>	○	○	○	4
<p>遷移元素</p> <p>【知識及び技能】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する基礎的な知識や法則の活用方法、関連する現象を理解するための観察・実験についての基本的な技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する現象についての観察・実験や問題演習等を行い、科学的に探究する力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 指導項目・内容に挙げた項目を学ぶなかで、主体的に試行錯誤しながら自己の学習の状況を振り返り、課題を把握する。</p>	<p>遷移元素の特徴 鉄 銅 銀 亜鉛 クロムとマンガン 金属イオンの定性分析 問題演習</p>	<p>【知識及び技能】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する基礎的な知識や法則の活用方法、関連する現象を理解するための観察・実験についての基本的な技能を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する現象についての観察・実験や問題演習等を行い、科学的に探究する力を身に付けている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 指導項目・内容に挙げた項目を学ぶなかで、主体的に試行錯誤しながら自己の学習の状況を振り返り、課題を把握し調整することが出来る。</p>	○	○	○	6
<p>有機化合物の特徴</p> <p>【知識及び技能】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する基礎的な知識や法則の活用方法、関連する現象を理解するための観察・実験についての基本的な技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する現象についての観察・実験や問題演習等を行い、科学的に探究する力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p>	<p>有機物の特徴と分類 構造式の決定</p>	<p>【知識及び技能】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する基礎的な知識や法則の活用方法、関連する現象を理解するための観察・実験についての基本的な技能を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する現象についての観察・実験や問題演習等を行い、科学的に探究する力を身に付けている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 指導項目・内容に挙げた項目を学ぶなかで、主体的に試行錯誤しながら自己の学習の状況を振り返り、課題を把握し調整することが出来る。</p>	○	○	○	2

	<p>【学びに向かう力、人間性等】 指導項目・内容に挙げた項目を学ぶなかで、主体的に試行錯誤しながら自己の学習の状況を振り返り、課題を把握する。</p>							
	<p>脂肪族炭化水素 【知識及び技能】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する基礎的な知識や法則の活用方法、関連する現象を理解するための観察・実験についての基本的な技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する現象についての観察・実験や問題演習等を行い、科学的に探究する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 指導項目・内容に挙げた項目を学ぶなかで、主体的に試行錯誤しながら自己の学習の状況を振り返り、課題を把握する。</p>	<p>アルカン 置換反応 アルケン 付加反応 マルコフニコフ則 アルケンの酸化 アルキン 重合反応 不飽和度 問題演習</p>	<p>【知識及び技能】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する基礎的な知識や法則の活用方法、関連する現象を理解するための観察・実験についての基本的な技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する現象についての観察・実験や問題演習等を行い、科学的に探究する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 指導項目・内容に挙げた項目を学ぶなかで、主体的に試行錯誤しながら自己の学習の状況を振り返り、課題を把握し調整することが出来る。</p>					10
	<p>酸素を含む脂肪族炭化水素 【知識及び技能】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する基礎的な知識や法則の活用方法、関連する現象を理解するための観察・実験についての基本的な技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する現象についての観察・実験や問題演習等を行い、科学的に探究する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 指導項目・内容に挙げた項目を学ぶなかで、主体的に試行錯誤しながら自己の学習の状況を振り返り、課題を把握する。</p>	<p>アルコール エーテル アルデヒド ケトン カルボン酸 鏡像異性体 エステル 油脂 セッケン 問題演習</p>	<p>【知識及び技能】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する基礎的な知識や法則の活用方法、関連する現象を理解するための観察・実験についての基本的な技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する現象についての観察・実験や問題演習等を行い、科学的に探究する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 指導項目・内容に挙げた項目を学ぶなかで、主体的に試行錯誤しながら自己の学習の状況を振り返り、課題を把握し調整することが出来る。</p>					6
2 学 期	<p>芳香族化合物 【知識及び技能】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する基礎的な知識や法則の活用方法、関連する現象を理解するための観察・実験についての基本的な技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する現象についての観察・実験や問題演習等を行い、科学的に探究する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 指導項目・内容に挙げた項目を学ぶなかで、主体的に試行錯誤しながら自己の学習の状況を振り返り、課題を把握する。</p>	<p>ベンゼン 芳香族炭化水素 ベンゼンの置換反応 ベンゼンの付加反応 フェノール クメン法 芳香族カルボン酸 サリチル酸 芳香族アミン アゾ化合物 置換基の配向性 芳香族化合物の分離 問題演習</p>	<p>【知識及び技能】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する基礎的な知識や法則の活用方法、関連する現象を理解するための観察・実験についての基本的な技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する現象についての観察・実験や問題演習等を行い、科学的に探究する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 指導項目・内容に挙げた項目を学ぶなかで、主体的に試行錯誤しながら自己の学習の状況を振り返り、課題を把握し調整することが出来る。</p>					12
	定期考査(2学期中間考査)							1
	考査返却・単元の振り返り							1
	<p>天然高分子化合物 【知識及び技能】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する基礎的な知識や法則の活用方法、関連する現象を理解するための観察・実験についての基本的な技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する現象についての観察・実験や問題演習等を行い、科学的に探究する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 指導項目・内容に挙げた項目を学ぶなかで、主体的に試行錯誤しながら自己の学習の状況を振り返り、課題を把握する。</p>	<p>高分子化合物の特徴 単糖・二糖 多糖 アミノ酸 タンパク質 核酸 問題演習</p>	<p>【知識及び技能】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する基礎的な知識や法則の活用方法、関連する現象を理解するための観察・実験についての基本的な技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する現象についての観察・実験や問題演習等を行い、科学的に探究する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 指導項目・内容に挙げた項目を学ぶなかで、主体的に試行錯誤しながら自己の学習の状況を振り返り、課題を把握し調整することが出来る。</p>					6

<p>合成高分子化合物</p> <p>【知識及び技能】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する基礎的な知識や法則の活用方法、関連する現象を理解するための観察・実験についての基本的な技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する現象についての観察・実験や問題演習等を行い、科学的に探究する力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 指導項目・内容に挙げた項目を学ぶなかで、主体的に試行錯誤しながら自己の学習の状況を振り返り、課題を把握する。</p>	<p>合成高分子化合物の特徴</p> <p>合成繊維 合成樹脂 機能性高分子化合物 ゴム 問題演習</p>	<p>【知識及び技能】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する基礎的な知識や法則の活用方法、関連する現象を理解するための観察・実験についての基本的な技能を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する現象についての観察・実験や問題演習等を行い、科学的に探究する力を身に付けている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 指導項目・内容に挙げた項目を学ぶなかで、主体的に試行錯誤しながら自己の学習の状況を振り返り、課題を把握し調整することが出来る。</p>				6
<p>化学の薬く未来</p> <p>【知識及び技能】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する基礎的な知識や法則の活用方法、関連する現象を理解するための観察・実験についての基本的な技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する現象についての観察・実験や問題演習等を行い、科学的に探究する力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 指導項目・内容に挙げた項目を学ぶなかで、主体的に試行錯誤しながら自己の学習の状況を振り返り、課題を把握する。</p>	<p>医薬品の開発</p> <p>質量分析 核磁気共鳴分光法 赤外吸光分光法 紫外可視分光法 持続可能な社会を目指して</p>	<p>【知識及び技能】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する基礎的な知識や法則の活用方法、関連する現象を理解するための観察・実験についての基本的な技能を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する現象についての観察・実験や問題演習等を行い、科学的に探究する力を身に付けている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 指導項目・内容に挙げた項目を学ぶなかで、主体的に試行錯誤しながら自己の学習の状況を振り返り、課題を把握し調整することが出来る。</p>				6
<p>総合問題演習</p> <p>【知識及び技能】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する基礎的な知識や法則の活用方法、関連する現象を理解するための観察・実験についての基本的な技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する現象についての観察・実験や問題演習等を行い、科学的に探究する力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 指導項目・内容に挙げた項目を学ぶなかで、主体的に試行錯誤しながら自己の学習の状況を振り返り、課題を把握する。</p>	<p>総合問題演習</p>	<p>【知識及び技能】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する基礎的な知識や法則の活用方法、関連する現象を理解するための観察・実験についての基本的な技能を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する現象についての観察・実験や問題演習等を行い、科学的に探究する力を身に付けている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 指導項目・内容に挙げた項目を学ぶなかで、主体的に試行錯誤しながら自己の学習の状況を振り返り、課題を把握し調整することが出来る。</p>				43
<p>定期考査(2学期期末考査)</p>			○	○		1
<p>考査返却・単元の振り返り</p>				○		1
<p>総合問題演習</p> <p>【知識及び技能】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する基礎的な知識や法則の活用方法、関連する現象を理解するための観察・実験についての基本的な技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p>	<p>総合問題演習</p>	<p>【知識及び技能】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する基礎的な知識や法則の活用方法、関連する現象を理解するための観察・実験についての基本的な技能を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する現象についての観察・実験や問題演習等を行い、科学的に探</p>				

3 学 期	<p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>指導項目・内容に挙げた項目に関連する現象についての観察・実験や問題演習等を行い、科学的に探究する力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>指導項目・内容に挙げた項目を学ぶなかで、主体的に試行錯誤しながら自己の学習の状況を振り返り、課題を把握する。</p>	<p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>指導項目・内容に挙げた項目を学ぶなかで、主体的に試行錯誤しながら自己の学習の状況を振り返り、課題を把握し調整することが出来る。</p>				20
	定期考査(学年末考査)			○	○	1
	考査返却・単元の振り返り				○	1
						合計 210

高等学校 令和6年度(3学年用) 教科 保健体育科 科目 体育

教科: 保健体育科 科目: 体育 単位数: 2 単位

対象学年組: 第3学年 1組~ 7組

使用教科書: (現代高等保健体育)

教科 保健体育科 の目標:

- 【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解すると共に、技能を身につけるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに、健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 体育 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することが出来るようにするために、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身につけるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
ソフトボール 【知識及び技能】 安定したバット操作と走塁での攻撃、ボール操作、連携した守備などによって攻防を展開することができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解し、自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする事、自己の責任を果たそうとすること、作戦などについての話し合いに貢献しようとする事などが、健康・安全を確保することができるようにする。	・体育ノート作成 ・トスバッティング ・ピッチャーにワンバウンドで返す ・ハーフバッティング 50~80%の力でセンター方向に打つ ・シートノック サードで捕球してファーストへ送球 ・シートバッティング ・ケースノック ・チーム別練習 ・試合	【知識及び技能】 ①技術の名称や行い方について学習した内容を挙げている。 ②攻防を展開するための基本的なバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と定位置での守備などの動きができる。 ③攻防を展開するための安定したバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と連携した守備などの動きができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ①自己のチームや相手チームの特徴を踏まえた作戦や戦術を選んでいる。 ②技術的な課題や有効な練習方法の選択について指摘している。 【学びに向かう力、人間性等】 ①仲間とともに協力しながら活動し、ソフトボールの楽しさや喜びを自主的に味わおうとしている。 ②チーム内での自己の役割を責任をもって果たそうとしている。 ③戦術や仲間へのアドバイスを自主的に行おうとしている。	○	○	○	11
バレーボール 【知識及び技能】 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって、空いた場所をめぐる攻防を展開することができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 体力の高め方、運動観察の方法などを理解し、自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする事、作戦などについての話し合いに貢献しようとする事、安全を確保することができるようにする。	・体育ノート作成 ・個人でのボール操作の練習 ・対人でのボール操作の練習 ・動きながらのボール操作の練習 ・サーブ、カットの練習 ・スパイクの仕方の確認と練習 ・攻防の中でチャンスがあれば2アタックが有効であることを確認し、練習する ・自分たちで役割を決め、審判をする。 ・チームの改善点を見つけ、練習をして試合に活かす。 ・試合	【知識及び技能】 ①空いた場所をめぐる攻防を展開するためのボールや用具の操作と定位置に戻るなどの動きができる。 ②ゲームを展開するための作戦に応じた技能や仲間と連携した動きを身に付けている。 ③試合の運営の仕方を知っている 【思考力、判断力、表現力等】 ①ボール操作やボールを持たないときの動きなどの技術を身に付けるための運動の仕方のポイントを見つけている。 ②自己やチームの課題を見つけている。 【学びに向かう力、人間性等】 ①種目の練習に積極的に取り組もうとしている。 ②作戦などの話し合いなどについて自分の考えを話している。 ③仲間の学習を援助しようとしている。 ④試合に必要な準備を主体的に取り組んでいる。	○	○	○	11
バドミントン1 【知識及び技能】 個人的技能やペアとの連携能力を高め、自分やペアの能力に応じたゲームができる。 【思考力、判断力、表現力等】 自分やペアの能力に適した課題を設定するとともに、その解決を目指して練習方法を工夫し、技能を生かした作戦を立て、ゲームができる。 【学びに向かう力、人間性等】 活動場所や用具などの安全を確かめ、まわりを確認してラケットを振るなど、健康・安全に留意して練習やゲームを行う態度を身に付ける。	・体育ノート作成 ・サービスについてのルール確認、練習 ・ハイクリアー、ドライブ、ドロップ、ヘアピンの習得 ・ショット別ラリー ・シングルスゲームのルール、運営の仕方を確認 ・ダブルスゲームのルール、運営の仕方を確認 ・試合	【知識及び技能】 ①用具の準備、準備運動、練習の仕方やバドミントンの用語を知っている ②個人的技能の構成と自分のレベル、それら高めるための練習の仕方を把握している。 ③各種フライトやサービス、レシーブなどの個人的技能を身に付けている 【思考力、判断力、表現力等】 ①自分やグループの能力に応じて適切にグループの課題を見つけ、計画的な練習の仕方を工夫している。 ②試合の結果や対戦相手を分析し、自分(ペア)の技能程度に応じた作戦を立てようとする。 【学びに向かう力、人間性等】 ①自分の技能を高めるためにすすんで練習に取り組もうとしている。 ②課題を解決するための話し合いや作戦などについての話し合いに貢献しようとしている。	○	○	○	11

1
学期

<p>ターゲットゴルフ 1</p> <p>【知識及び技能】 個人的技能を高め、自分の能力に応じたクラブ操作ができる。また、用具の名称やコースを回る際に必要な用語を理解することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自分の能力に適した課題を設定するとともに、その解決を目指して練習方法を工夫し、技能を生かした作戦を立て、コースを周ることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 活動場所や用具などの安全を確かめ、まわりを確認してクラブを振るなど、健康・安全に留意して練習やコースを周る態度を身に付ける。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・体育ノートの作成 ・用具の名称の確認 ・安全への配慮の確認 ・クラブの握り方の確認 ・クラブの振り方の確認 ・基礎打ちの練習 ・高く浮かす練習 ・目標物をめがけて打つ練習 ・コースの周り方確認 ・コースを周る 	<p>【知識及び技能】</p> <p>①用具の準備、準備運動、練習の仕方やターゲットゴルフの用語を知っている</p> <p>②個人的技能の構成と自分のレベル、それら高めるための練習の仕方を把握している</p> <p>③各種ショットの個人的技能を身に付けている</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>①自分の能力に応じて適切に課題を見つけ、計画的な練習の仕方を工夫している。</p> <p>②コースの結果を分析し、自分の技能程度に応じた作戦を立てようとする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>①自分の技能を高めるためにすすんで練習に取り組もうとしている。</p> <p>②準備や片付けなど進んで取り組もうとしている。</p>	○	○	○	11
<p>バスケットボール</p> <p>【知識及び技能】 安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防を展開できるようにする</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動の観察などを理解し、自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする事、自己の責任を果たそうとすること、作戦などについて話し合いに貢献しようとする事などや健康・安全を確保することができるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・体育ノートの作成 ・レイアップシュートの練習 ・様々なステップを使用したランニングシュートの練習 ・アウトナンバーの練習 ・空いたスペースに飛び込む動きを習得する ・試合 	<p>【知識及び技能】</p> <p>①技術の名称や行い方について、学習した具体例を挙げている。</p> <p>②ゴール前での攻防を展開するためのボール操作と空間に走りこむなどの動きができる。</p> <p>③ゴール前への侵入などから攻防を展開するための安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>①自己のチームや相手チームの特徴を踏まえた作戦や戦術を選んでいる。</p> <p>②技術的な課題や有効な練習方法の選択について指摘している。</p> <p>③話し合いの場面で、合意を形成するための適切ななかかわり方を見つけている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>①学習に自主的に取り組もうとしている。</p> <p>②作戦などについての話し合いに貢献しようとしている。</p>	○	○	○	8
<p>サッカー</p> <p>【知識及び技能】 技術などの名称や行い方、課題解決の方法などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができる。サッカーは状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防をすること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに自己の考えたことを他者に伝えることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にすること、合意形成に貢献しようとする事、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする事などや、健康・安全を確保すること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・体育ノートの作成 ・対面パス、コーンドリブル ・ポストシュート ・セントリングシュート ・DFを置いた状態でオフサイドルール適用のミニゲーム ・チームの課題に応じた練習 ・チームに分かれゲーム形式。試合を重ねる中で相手に応じた作戦を考えていく。 ・試合 	<p>【知識及び技能】</p> <p>・球技には、集団対集団、個人対個人で攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わえる特性があることについて、言ったり書き出したりしている。</p> <p>・球技の各型の各種目において用いられる技術には名称があり、それらを身に付けるためのポイントがあることについて、学習した具体例を挙げている。</p> <p>・対戦相手との競争において、技能の程度に応じた作戦や戦術を選ぶことが有効であることについて、学習した具体例を挙げている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>・提示された動きのポイントやつまずきの事例を参考に、仲間の課題や出来映えを伝えている。</p> <p>・提供された練習方法から、自己やチームの課題に応じた練習方法を選んでいる。</p> <p>・学習した安全上の留意点を、他の学習場面に当てはめ、仲間に伝えている。</p> <p>・練習やゲームの場面で、最善を尽くす、フェアなプレイなどのよい取組を見付け、理由を添えて他者に伝えている。</p> <p>・仲間と協力する場面で、分担した役割に応じた活動の仕方を見付けている。</p>	○	○	○	8
<p>バドミントン 2</p> <p>【知識及び技能】 個人的技能やペアとの連携能力を高め、自分やペアの能力に応じたゲームができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自分やペアの能力に適した課題を設定するとともに、その解決を目指して練習方法を工夫し、技能を生かした作戦を立て、ゲームができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 活動場所や用具などの安全を確かめ、まわりを確認してラケットを振るなど、健康・安全に留意して練習やゲームを行う態度を身に付ける。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・体育ノート作成 ・サーブについてのルール確認、練習 ・ハイクリアー、ドライブ、ドロップ、ヘアピンの習得 ・ショット別ラリー ・シングルスゲームのルール、運営の仕方を確認 ・ダブルスゲームのルール、運営の仕方を確認 ・試合 	<p>【知識及び技能】</p> <p>①用具の準備、準備運動、練習の仕方やバドミントンの用語を知っている</p> <p>②個人的技能の構成と自分のレベル、それら高めるための練習の仕方を把握している。</p> <p>③各種フライトやサーブ、レシーブなどの個人的技能を身に付けている</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>①自分やグループの能力に応じて適切にグループの課題を見つけ、計画的な練習の仕方を工夫している。</p> <p>②試合の結果や対戦相手を分析し、自分(ペア)の技能程度に応じた作戦を立てようとする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>①自分の技能を高めるためにすすんで練習に取り組もうとしている。</p> <p>②課題を解決するための話し合いや作戦などについての話し合いに貢献しようとしている。</p>	○	○	○	9
<p>ターゲットゴルフ 2</p> <p>【知識及び技能】 個人的技能を高め、自分の能力に応じたクラブ操作ができる。また、用具の名称やコースを回る際に必要な用語を理解することができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・体育ノートの作成 ・用具の名称の確認 ・安全への配慮の確認 ・クラブの握り方の確認 ・クラブの振り方の確認 	<p>【知識及び技能】</p> <p>①用具の準備、準備運動、練習の仕方やターゲットゴルフの用語を知っている</p> <p>②個人的技能の構成と自分のレベル、それら</p>				

<p>た、用具の名称やコースを回る際に必要な用語を理解することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自分の能力に適した課題を設定するとともに、その解決を目指して練習方法を工夫し、技能を生かした作戦を立て、コースを回る事ができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・クラブの振り方の確認 ・基礎打ちの練習 ・高く浮かす練習 ・目標物をめがけて打つ練習 ・コースの周り方確認 ・コースを回る 	<p>を高めるための練習の仕方を把握している。</p> <p>③各種ショットの個人的技能を身に付けている</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ①自分の能力に応じて適切に課題を見つけ、計画的な練習の仕方を工夫している。 ②コースの結果を分析し、自分の技能程度に応じた作戦を立てようとする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p>	○	○	○	8
---	---	---	---	---	---	---

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 芸術 科目 実践音楽演習

教科：芸術 科目：実践音楽演習 単位数： 単位

対象学年組：第 3 学年 組～ 組

使用教科書：（ ）

教科 芸術 の目標：

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を

科目 実践音楽演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。	主体的・協動的に音楽の幅広い活動に取り組む、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			評価規準	知	思	態	配 当 時 数	
		歌	器	創						
1 学 期	<p>弾き歌いにチャレンジしようーギターかピアノを選択してー</p> <p>【知】ギター及びピアノの基礎的・基本的な技能を身に付け、各自が選択した楽曲の表現内容を総合的に理解し、表現意図をもって音楽表現をするために必要な発声、読譜、伴奏の具能を身に付け、創造的に表す。</p> <p>【思】リズム・速度・旋律・テクスチャ・強弱と伴奏の関わりを感覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、楽曲の表現内容を総合的に理解し、どのように歌うか表現意図をもつ。</p> <p>【態】各自が選択した楽曲の表現内容に関心をもち、弾き歌いという音楽の形態に意欲的に協働して取り組む。</p>	<p>【指導事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ギター及びピアノの基本奏法を理解し、アンサンブルに親しむ。 ふさわしい表現を創意工夫して演奏する。 <p>【教材】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自由課題 	○	○	○	<p>【知】ギター及びピアノの基礎的・基本的な技能を身に付け、各自が選択した楽曲の表現内容を総合的に理解し、表現意図をもって音楽表現をするために必要な発声、読譜、伴奏の具能を身に付け、創造的に表す。</p> <p>【思】リズム・速度・旋律・テクスチャ・強弱と伴奏の関わりを感覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、楽曲の表現内容を総合的に理解し、どのように歌うか表現意図をもつ。</p> <p>【態】各自が選択した楽曲の表現内容に関心をもち、弾き歌いという音楽の形態に意欲的に協働して取り組む。</p>	○	○	○	8
	<p>アンサンブルを楽しもう</p> <p>【知】様々な表現形態による器楽表現の固有性や多様性について理解し、創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲技能を身に付け、器楽で表す。</p> <p>【思】音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を感覚し、それらの働きを感受しながら、どのように演奏するかについて表現意図をもって演奏する。</p> <p>【態】個性豊かに器楽表現を創意工夫しながら主体的・協働的に学習活動に取り組む。</p>	<p>【指導事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> 器楽演奏において必要な表現の技術及び知識を学び、イメージをもちて演奏活動に取り組む。 アンサンブルの特徴を理解する。 <p>【教材】</p> <ul style="list-style-type: none"> 器楽アンサンブル「崖の上のボニョ」「アナと雪の女王メドレー」 	○	○	○	<p>【知】曲想と音楽の構造や楽器の音色、奏法との関わりによって生み出される表現上の効果、様々な表現形態による器楽表現の固有性や多様性について理解し、創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲技能を身に付け、器楽で表す。</p> <p>【思】音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を感覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもって演奏する。</p> <p>【態】各自の担当する楽器の奏法を身に付け、個性豊かに器楽表現を創意工夫しながら主体的・協働的に学習活動に取り組む。</p>	○	○	○	14
<p>言葉の特性と曲種に応じた発声を理解し、表現を創意工夫しながら歌唱しよう</p> <p>【知】言葉の特性と曲種に応じた発声について理解し、創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な曲にふさわしい発声、言葉の発音などの技能を身に付け、歌唱する。</p> <p>【思】音色、リズム、旋律、強弱、構成を感覚し、それらの働きと感受したことの関わりについて考え、個性豊かに歌唱表現を創意工夫する。</p> <p>【態】言葉のリズムや抑揚、語感、歌詞が旋律の流れやフレーズにどのように表され、曲想を生み出しているかに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組む。</p>	<p>【指導事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を感覚し、それらがどのように表現に影響するのか考え、歌唱する。 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて意見を交換し理解を深める。 <p>【教材】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自由課題 	○	○	○	<p>【知】文化的・歴史的背景との関わり及び言葉の特性と曲種に応じた発声、それらの関わりによって生みだされる表現上の効果について理解し、創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な曲にふさわしい発声、言葉の発音などの技能を身に付け、歌唱する。</p> <p>【思】音色、リズム、旋律、強弱、構成を感覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考え、個性豊かに歌唱表現を創意工夫する。</p> <p>【態】言葉のリズムや抑揚、語感、歌詞が旋律の流れやフレーズにどのように表され、曲想を生み出しているかに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組む。</p>	○	○	○	6	
<p>ピアノアンサンブルを楽しもう</p> <p>【知識及び技能】曲想とピアノの音色や奏法との関わりについて理解し、創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付け</p>	<p>【指導事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ピアノの基本奏法を理解し、ピアノアンサンブルに親しむ。 ふさわしい表現を創意工夫して演奏する。 <p>【教材】</p> <ul style="list-style-type: none"> ピアノアンサンブル 	○	○	○	<p>【知】曲想とピアノの音色や奏法との関わりについて理解し、創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付け、器楽で表している。</p> <p>【思】音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を感覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考え、個性豊かに器楽表現を創意工夫する。</p>	○	○	○		

	<p>さまざまな助動詞を用いた構文を理解し、概要や要点を捉える技能を身に付ける。</p> <p>【思考・判断・表現】助動詞のさまざまな用法を用いて、世界で起こっているさまざまな紛争の解決方法について、考えや気持ちを話して伝える。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】助動詞のさまざまな用法を用いて、世界で起こっているさまざまな紛争の解決方法について、考えや気持ちを話して伝える。</p>	<p>Listen and choose Comprehension Grammar Expression Summary Production Express Yourself Exercises Let's try Reading Skill</p>	○	○	○	○	○	<p>さまざまな助動詞を用いた構文を理解し、概要や要点を捉える技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】助動詞のさまざまな用法を用いて、世界で起こっているさまざまな紛争の解決方法について、考えや気持ちを話して伝える。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】助動詞のさまざまな用法を用いて、世界で起こっているさまざまな紛争の解決方法について、考えや気持ちを話して伝えようとしている。</p>	○	○	○	○	14
	<p>Lesson 6</p> <p>【知識及び技能】SVOC、使役動詞、知覚動詞等を理解し、概要や要点を捉える技能を身に付ける。</p> <p>【思考・判断・表現】SVOC、使役動詞、知覚動詞などを用いて、必要と考えるAIロボットについて、考えや気持ちを話して伝える。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】SVOC、使役動詞、知覚動詞などを用いて、必要と考えるAIロボットについて、考えや気持ちを話して伝える。</p>	<p>Before you read Vocabulary Listen and choose Comprehension Grammar Expression Summary Production Express Yourself Exercises Let's try Reading Skill</p>	○	○	○	○	○	<p>Lesson 6</p> <p>【知識及び技能】SVOC、使役動詞、知覚動詞等を理解し、概要や要点を捉える技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】SVOC、使役動詞、知覚動詞などを用いて、必要と考えるAIロボットについて、考えや気持ちを話して伝える。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】SVOC、使役動詞、知覚動詞などを用いて、必要と考えるAIロボットについて、考えや気持ちを話して伝えようとしている。</p>	○	○	○	○	14
2学期	定期考査								○	○			1
	<p>Lesson 7</p> <p>【知識及び技能】さまざまな比較級や完了不定詞等の用法を理解し、概要や要点を捉える技能を身に付ける。</p> <p>【思考・判断・表現】さまざまな比較級や完了不定詞等の用法を用いて、グローバル化のよい面や悪い面について、考えや気持ちを話して伝える。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】さまざまな比較級や完了不定詞等の用法を用いて、グローバル化のよい面や悪い面について、考えや気持ちを話して伝える。</p>	<p>Before you read Vocabulary Listen and choose Comprehension Grammar Expression Summary Production Express Yourself Exercises Let's try Reading Skill</p>	○	○	○	○	○	<p>Lesson 7</p> <p>【知識及び技能】さまざまな比較級や完了不定詞等の用法を理解し、概要や要点を捉える技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】さまざまな比較級や完了不定詞等の用法を用いて、グローバル化のよい面や悪い面について、考えや気持ちを話して伝える。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】さまざまな比較級や完了不定詞等の用法を用いて、グローバル化のよい面や悪い面について、考えや気持ちを話して伝えようとしている。</p>	○	○	○	○	14
	<p>Lesson 8</p> <p>【知識及び技能】さまざまな分詞構文や付帯状況のwith等を理解し、概要や要点を捉える技能を身に付ける。</p> <p>【思考・判断・表現】さまざまな分詞構文や付帯状況のwithの用法を用いて、今まででおもしろいと思ったことについて、考えや気持ちを話して伝える。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】さまざまな分詞構文や付帯状況のwithの用法を用いて、今まででおもしろいと思ったことについて、考えや気持ちを話して伝える。</p>	<p>Before you read Vocabulary Listen and choose Comprehension Grammar Expression Summary Production Express Yourself Exercises Let's try Reading Skill</p>	○	○	○	○	○	<p>Lesson 8</p> <p>【知識及び技能】さまざまな分詞構文や付帯状況のwith等を理解し、概要や要点を捉える技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】さまざまな分詞構文や付帯状況のwithの用法を用いて、今まででおもしろいと思ったことについて、考えや気持ちを話して伝える。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】さまざまな分詞構文や付帯状況のwithの用法を用いて、今まででおもしろいと思ったことについて、考えや気持ちを話して伝えようとしている。</p>	○	○	○	○	14
	定期考査								○	○			1
	<p>Lesson 9</p> <p>【知識及び技能】仮定法や複合関係詞等のさまざまな用法を理解し、概要や要点を捉える技能を身に付ける。</p> <p>【思考・判断・表現】さまざまな仮定法の用法を用いて、もし、中学生に戻れるとしたら何をしたいか、考えや気持ちを話して伝える。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】さまざまな仮定法の用法を用いて、もし、中学生に戻れるとしたら何をしたいか、考えや気持ちを話して伝える。</p>	<p>Before you read Vocabulary Listen and choose Comprehension Grammar Expression Summary Production Express Yourself Exercises Let's try Reading Skill</p>	○	○	○	○	○	<p>Lesson 9</p> <p>【知識及び技能】仮定法や複合関係詞等のさまざまな用法を理解し、概要や要点を捉える技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】さまざまな仮定法の用法を用いて、もし、中学生に戻れるとしたら何をしたいか、考えや気持ちを話して伝える。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】さまざまな仮定法の用法を用いて、もし、中学生に戻れるとしたら何をしたいか、考えや気持ちを話して伝えようとしている。</p>	○	○	○	○	14
3学期	Lesson 1 0	<p>Before you read Vocabulary</p>						Lesson 1 0					
	【知識及び技能】							【知識及び技能】					

期	<p>同格のthat, 同格のof, 否定の倒置構文等を理解し, 概要や要点を捉える技能を身に付ける。</p> <p>【思考・判断・表現】 同格のthat, 同格のof, 否定の倒置構文等を用いて, 自分にとっての壁とは何か, 考えや気持ちを話して伝える。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 同格のthat, 同格のof, 否定の倒置構文等を用いて, 自分にとっての壁とは何か, 考えや気持ちを話して伝える。</p>	<p>Listen and choose Comprehension Grammar Expression Summary Production Express Yourself Exercises Let's try Reading Skill</p>						<p>同格のthat, 同格のof, 否定の倒置構文等を理解し, 概要や要点を捉える技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 同格のthat, 同格のof, 否定の倒置構文等を用いて, 自分にとっての壁とは何か, 考えや気持ちを話して伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 同格のthat, 同格のof, 否定の倒置構文等を用いて, 自分にとっての壁とは何か, 考えや気持ちを話して伝えようとしている。</p>				14
定期考査												1

<p>Lesson31-Lesson41</p> <p>【知識及び技能】 疑問文、否定、話法、名詞冠詞の用法が理解できる。</p> <p>【思考・判断・表現】 疑問文、否定、話法、名詞冠詞を使って、人に頼みたいことなどを表現できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 教育、政治、産業、科学技術について、積極的に発表しようとする。</p>	<p>Lesson31-33 疑問文否定 Lesson34-41 話法、名詞冠詞</p>		<p>【知識及び技能】 疑問文、否定、話法、名詞冠詞を使った文を理解している。 疑問文、否定、話法、名詞冠詞を使った文の理解をもとに、健康によいとされている行動について発表する技能を身につけている。</p> <p>【思考・判断・表現】 教育、政治、産業、科学技術について、ペアでの話し合いをとおして、自分たちの考えをまとめ、聞き手にわかりやすく伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 教育、政治、産業、科学技術について、ペアでの話し合いをとおして、自分たちの考えをまとめ、聞き手に積極的に伝えようとしている。</p>		14
--	--	--	---	--	----

	<p>【主体的に学習に取り組む態度】 人体・宇宙・言語・商業について、積極的に発表しようとする。</p>					<p>人体・宇宙・言語・商業について、ペアやグループでの話し合いを通して、自分たちの考えをまとめ、それを聞き手にわかりやすく伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 人体・宇宙・言語・商業について、ペアやグループでの話し合いを通して、自分たちの考えをまとめ、それを聞き手に積極的に伝えようとしている。</p>					5	
	定期考査									○	○	1
2 学 期	<p>UNIT9-12 【知識及び技能】 さまざまな構文を理解し、概要や要点を捉える技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】 さまざまな構文を用いて、生物学・歴史・健康・工業について、考えや気持ちを話して伝える。 【主体的に学習に取り組む態度】 さまざまな構文を用いて、生物学・歴史・健康・工業について、考えや気持ちを話して伝える。</p>	<p>○語彙力、文法力、一般常識、要約力の4つの力を高めると同時に、論理的に文章を理解する力を養う。 ○本文に関連することについて英語で自分の考えを表現させる。</p>				<p>UNIT9-12 【知識及び技能】 さまざまな構文を理解し、概要や要点を捉える技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 さまざまな構文を用いて、生物学・歴史・健康・工業について、考えや気持ちを話して伝える。 【主体的に学習に取り組む態度】 さまざまな構文を用いて、生物学・歴史・健康・工業について、考えや気持ちを話して伝えようとしている。</p>						5
	定期考査									○	○	1
	<p>UNIT 13-16 【知識及び技能】 さまざまな構文を理解し、概要や要点を捉える技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】 さまざまな構文を用いて、コミュニケーション・科学技術・日常生活・社会について、考えや気持ちを話して伝える。 【主体的に学習に取り組む態度】 さまざまな構文を用いて、コミュニケーション・科学技術・日常生活・社会について、考えや気持ちを話して伝える。</p>	<p>○語彙力、文法力、一般常識、要約力の4つの力を高めると同時に、論理的に文章を理解する力を養う。 ○本文に関連することについて英語で自分の考えを表現させる。</p>				<p>UNIT13-16 【知識及び技能】 さまざまな構文を理解し、概要や要点を捉える技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 さまざまな構文を用いて、コミュニケーション・科学技術・日常生活・社会について、考えや気持ちを話して伝える。 【主体的に学習に取り組む態度】 さまざまな構文を用いて、コミュニケーション・科学技術・日常生活・社会について、考えや気持ちを話して伝えようとしている。</p>						8
	<p>Lesson21-Lesson30 【知識及び技能】 比較、関係詞、仮定法の用法が理解できる。 【思考・判断・表現】 比較、関係詞、仮定法を使って、人に頼みたいことなどを表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 コミュニケーション・科学技術・日常生活・社会についてについて、自分の考えを聞き手に積極的に伝えようとしている。</p>	<p>Lesson21-24 比較 Lesson25-27 関係詞 Lesson28-30 仮定法</p>				<p>Lesson21-Lesson30 【知識及び技能】 比較、関係詞、仮定法を使った文を理解している。 比較、関係詞、仮定法を使った文の理解をもとに、将来予測される事柄について紹介する技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 コミュニケーション・科学技術・日常生活・社会についてについて、自分の考えを聞き手にわかりやすく伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 コミュニケーション・科学技術・日常生活・社会についてについて、自分の考えを聞き手に積極的に伝えようとしている。</p>						5
	定期考査									○	○	1
3 年	<p>UNIT 17-20 【知識及び技能】 さまざまな構文を理解し、概要や要点を捉える技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】 さまざまな構文を用いて、医療・会話・ノンフィクション・情報社会について、考えや気持ちを話して伝える。 【主体的に学習に取り組む態度】 さまざまな構文を用いて、医療・会話・ノンフィクション・情報社会について、考えや気持ちを話して伝える。</p>	<p>○語彙力、文法力、一般常識、要約力の4つの力を高めると同時に、論理的に文章を理解する力を養う。 ○本文に関連することについて英語で自分の考えを表現させる。</p>				<p>UNIT17-20 【知識及び技能】 さまざまな構文を理解し、概要や要点を捉える技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 さまざまな構文を用いて、医療・会話・ノンフィクション・情報社会について、考えや気持ちを話して伝える。 【主体的に学習に取り組む態度】 さまざまな構文を用いて、医療・会話・ノンフィクション・情報社会について、考えや気持ちを話して伝えようとしている。</p>						8

<p>下期</p>	<p>Lesson31-Lesson41 【知識及び技能】 疑問文、否定、話法、名詞冠詞の用法が理解できる。 【思考・判断・表現】 疑問文、否定、話法、名詞冠詞を使って、人に頼みたいことなどを表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 医療・会話・ノンフィクション・情報社会について、積極的に発表しようとする。</p>	<p>Lesson31-33 疑問文否定 Lesson34-41 話法、名詞冠詞</p>		<p>Lesson31-Lesson41 【知識及び技能】 疑問文、否定、話法、名詞冠詞を使った文を理解している。 疑問文、否定、話法、名詞冠詞を使った文の理解をもとに、健康によいと言われている行動について発表する技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 医療・会話・ノンフィクション・情報社会について、ペアでの話し合いを通して、自分たちの考えをまとめ、聞き手にわかりやすく伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 医療・会話・ノンフィクション・情報社会について、ペアでの話し合いを通して、自分たちの考えをまとめ、聞き手に積極的に伝えようとしている。</p>		<p>14</p>
-----------	---	---	--	---	--	-----------

3 学期

合計

40

高等学校 令和6年度 (3学年用) 教科 家庭 科目 フードデザイン

教科: 家庭 科目: フードデザイン 単位数: 単位 2

対象学年組: 第 3 学年 組~ 組

使用教科書: (フードデザイン 実教出版)

教科 家庭 の目標:

【知識及び技能】

【思考力、判断力、表現力等】

【学びに向かう力、人間性等】

科目 フードデザイン の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実験的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、栄養・食品・献立・調理などについて理解を深めるとともに、関連する技術を身に付ける。	実験的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、栄養・食品・献立・調理などについて課題を見つけ、その解決を目指して思考を深め、適切に判断できる。	実験的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、栄養・食品・献立・調理などの食生活の科学と文化に関心をもち、意欲をもって学習活動に取り組んでいる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	計量の基本・基本的な調理技術 【知識及び技能】 基本的な調理技術 【思考力、判断力、表現力等】 器具の使い方 【学びに向かう力、人間性等】 調理に主体的かつ協働的に取り組む。	・指導事項 ・計量の基本・基本の切り方 ・調理器具の名称 ・レポート	【知識・技能】 計量・基本の切り方、調理器具を理解し、実践している。 【思考・判断・表現】 計量・基本の切り方、調理器具の方法をまとめている。 【主体的に学習に取り組む態度】 調理に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	○	○	○	4
	穀類の特徴 【知識及び技能】 食品の特徴の理解・実践 【思考力、判断力、表現力等】 食品の調理方法のまとめ 【学びに向かう力、人間性等】 調理に主体的かつ協働的に取り組む。	・指導事項 ・穀類の特徴 ・レポート	【知識・技能】 食品の特徴と取り扱いを理解し実践している。 【思考・判断・表現】 食品の調理方法をまとめている。 【主体的に学習に取り組む態度】 調理に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	○	○	○	4
	牛乳・乳製品の特徴 【知識及び技能】 食品の特徴の理解・実践 【思考力、判断力、表現力等】 食品の調理方法のまとめ 【学びに向かう力、人間性等】 調理に主体的かつ協働的に取り組む。	・指導事項 ・乳・乳製品の特徴 ・レポート	【知識・技能】 食品の特徴と取り扱いを理解し実践している。 【思考・判断・表現】 食品の調理方法をまとめている。 【主体的に学習に取り組む態度】 調理に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	○	○	○	4
	卵の特徴 【知識及び技能】 食品の特徴の理解・実践 【思考力、判断力、表現力等】 食品の調理方法のまとめ 【学びに向かう力、人間性等】 調理に主体的かつ協働的に取り組む。	・指導事項 ・卵の特徴 ・レポート	【知識・技能】 食品の特徴と取り扱いを理解し実践している。 【思考・判断・表現】 食品の調理方法をまとめている。 【主体的に学習に取り組む態度】 調理に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	○	○	○	8
	野菜の特徴 【知識及び技能】 食品の特徴の理解・実践 【思考力、判断力、表現力等】 食品の調理方法のまとめ 【学びに向かう力、人間性等】 調理に主体的かつ協働的に取り組む。	・指導事項 ・野菜の特徴 ・レポート	【知識・技能】 食品の特徴と取り扱いを理解し実践している。 【思考・判断・表現】 食品の調理方法をまとめている。 【主体的に学習に取り組む態度】 調理に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
2 学 期	大豆の特徴 【知識及び技能】 食品の特徴の理解・実践 【思考力、判断力、表現力等】 食品の調理方法のまとめ 【学びに向かう力、人間性等】 調理に主体的かつ協働的に取り組む。	・指導事項 ・大豆の特徴 ・レポート	【知識・技能】 食品の特徴と取り扱いを理解し実践している。 【思考・判断・表現】 食品の調理方法をまとめている。 【主体的に学習に取り組む態度】 調理に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	○	○	○	10
	肉類の特徴 【知識及び技能】 食品の特徴の理解・実践 【思考力、判断力、表現力等】 食品の調理方法のまとめ 【学びに向かう力、人間性等】 調理に主体的かつ協働的に取り組む。	・指導事項 ・肉類の特徴 ・レポート	【知識・技能】 食品の特徴と取り扱いを理解し実践している。 【思考・判断・表現】 食品の調理方法をまとめている。 【主体的に学習に取り組む態度】 調理に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	○	○	○	10
	魚介類の特徴 【知識及び技能】 食品の特徴の理解・実践 【思考力、判断力、表現力等】 食品の調理方法のまとめ 【学びに向かう力、人間性等】 調理に主体的かつ協働的に取り組む。	・指導事項 ・魚介類の特徴 ・レポート	【知識・技能】 食品の特徴と取り扱いを理解し実践している。 【思考・判断・表現】 食品の調理方法をまとめている。 【主体的に学習に取り組む態度】 調理に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	穀類・きのこ類・海藻類の特徴 【知識及び技能】	・指導事項 ・穀類・きのこ類・海藻類の特徴	【知識・技能】 食品の特徴と取り扱いを理解し実践してい				

3 学 期	食品の特徴の理解・実践 【思考力、判断力、表現力等】 食品の調理方法のまとめ 【学びに向かう力、人間性等】 調理に主体的かつ協働的に取り組む。	・レポート	る。 【思考・判断・表現】 食品の調理方法をまとめている。 【主体的に学習に取り組む態度】 調理に主体的かつ協働的に取り組んでいる。				6
	寒天・ゼラチン・種実類の特徴 【知識及び技能】 食品の特徴の理解・実践 【思考力、判断力、表現力等】 食品の調理方法のまとめ 【学びに向かう力、人間性等】 調理に主体的かつ協働的に取り組む。	・指導事項 ・寒天・ゼラチン、種実類の特徴 ・レポート	【知識・技能】 食品の特徴と取り扱いを理解し実践している。 【思考・判断・表現】 食品の調理方法をまとめている。 【主体的に学習に取り組む態度】 調理に主体的かつ協働的に取り組んでいる。				4
							合計